

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
学校設定科目・国語入門	2	ラスパ ラーニング・スパイラル ペーシック	選択科目
評価方法	添削指導（計 7 回）、試験（年 1 回）、面接指導（年 2 回）での評価		

指導目標
基礎的な学力を補充し、高等学校の学習へのステップアップするための手立てとして設定している。漢字の読み書きや慣用的な語句の用法の問題を多く取り上げ、語彙を増やすことを目標にしている。

評価の観点
【知識・技能】 国語の知識や技能を身に付け、適切に活用できているか 【思考・判断力・表現力】 課題解決に必要な思考力、判断力、表現力などを身につけているか 【主体性】 知識や技能の習得、思考力・判断力・表現力の向上に向けた粘り強い取り組みや、自らの学習を調整しようとしているか

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	形が似た漢字① 熟語の意味① 同音異義語・同訓異字① 慣用句①	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	面接指導① 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	送りがなに注意する漢字① 主語・述語 ことわざ① 同じ部首の漢字 敬語① 故事成語①	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	
第3回	熟字訓 多くの読みをもつ漢字 熟語の意味② 同音異義語・同訓異字②	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	
第4回	慣用句② 送りがなに注意する漢字② ことわざ② 三字熟語・四字熟語① 類義語・対義語①	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	面接指導② 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々面接指導① 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	類義語・対義語② 同じ音の漢字① 形が似た漢字② 熟語の意味③ 同音異義語・同訓異字③ 慣用句③	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	
第6回	慣用句③ 送りがなに注意する漢字③ ことわざ③ 修飾語 敬語②	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	
第7回	三字熟語・四字熟語② 類義語・対義語② 同じ音の漢字② 故事成語②	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
学校設定科目・数学入門	2	ラスパ ラーニング・スパイラル ペーシック	選択科目
評価方法	添削指導（計7回）、試験（年1回）、面接指導（年2回）での評価		

指導目標
高等学校の必修科目である数学Ⅰの学習内容の定着をはかるために、基礎的な学習内容の定着を目的とする。様々な計算でのつまづきを取り除き、数学の学習への意欲向上心を育てる。

評価の観点
【知識・技能】数学の基本的な概念や原理・法則の理解度、事象を数学的に処理する技能 【思考・判断力・表現力】数学を活用して論理的に考察する力、事象の本質を捉え、数学的に表現する力 【主体性】数学の良さを認識し、積極的に活用しようとする態度、粘り強く問題解決に取り組む態度

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	正負の数（小数）の加減 加減の筆算、小数の加減 内角の和を使った図形問題 正負の数（小数）の乗除 整数・小数の乗除の筆算	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	面接指導① 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	割合、百分率 2乗・3乗の計算 図形の面積や体積を求める問題 分数の加減（同分母） 分数の加減（異分母）	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	
第3回	分数の加減（異分母） 分数の加減（約分の必要な計算） 比と割合 時間一分、分→時間の計算 分数の掛け算	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	
第4回	分数の割り算 道のり、速さ、時間の問題 反比例の関係をを用いる問題 文字式のきまり 文字式の計算。（多項式） $\pm$ （多項式）	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	面接指導② 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々面接指導① 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	（多項式） $\times$ 数、（多項式） $\times$ （多項式） 文字式の計算、代入 1次方程式の解き方 1次方程式の解き方（小数・分数）	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	
第6回	1次方程式の文章題 連立方程式の解き方（加減法） 連立方程式の解き方（代入法） 連立方程式の文章題	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	
第7回	比例式の計算 相似な図形と比例式 平方根の定義 平方根の四則計算	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
学校設定科目・英語入門	2	ラスパ ラーニング・スパイラル ペーシック	選択科目
評価方法	添削指導（計 7 回）、試験（年 1 回）、面接指導（年 2 回）での評価		

指導目標
英語の基礎的な内容を確認し補うことで、高等学校の学習内容へとスムーズに移行するために設定したもので、会話文中心に中学校で習う内容の中で頻出度の高いものを多く取り上げており、基礎力定着を目的としている。

評価の観点
【知識・技能】英語の音声、語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解し、それらをコミュニケーションにおいて適切に活用できるか 【思考・判断力・表現力】英語についての情報や考え、気持ちなどを論理的に話したり書いたりして表現し、伝え合おうとできるか 【主体性】英語学習への意欲や、粘り強く学習に取り組む態度、自己の学習を調整しようとするか

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	b e 動詞（現在）の文 一般動詞（現在）の文 よく使う会話表現【あいさつ】 三人称単数現在の文 代名詞	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	面接指導① 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	よく使う会話表現【時間・料金をたずねる】 現在進行形の文 「～できますか」というとき よく使う会話表現【曜日・日付をたずねる】	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	
第3回	様々な疑問詞・疑問文 よく使う会話表現【お願いしたりされたりするとき】 一般動詞（過去形）の文 b e 動詞（過去形）の文	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	
第4回	よく使う会話表現【～しなくてはならない】 過去進行形の文 未来形の文 よく使う会話表現【電話】 動名詞	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	面接指導② 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々面接指導① 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	t o 不定詞②（副詞的・形容詞的用法） よく使う会話表現【さそうとき・～のように見える】 "when,if,becauseを使った文" There is[are]を使った文	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	
第6回	よく使う会話表現【道をたずねる・具合をたずねる】 比較①形容詞・副詞の比較級 比較②形容詞・副詞の最上級 よく使う会話表現【買い物】	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	
第7回	受け身の文（過去分詞） 受け身の文（疑問文） 疑問詞+ t o 不定詞/It is…（for +人）to ～ 関係代名詞	教科書を参考にし、中学校で学習した基礎的・基本的な事項について整理、確認する。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
総合的な探究の時間・日本語探究	4	なし	必履修科目
評価方法	添削指導（１２回）、試験（なし）、面接指導（４回）での評価		

指導目標
普段私たちが何気なく使っている日本語だが、思わぬ勘違いや思い違いも多く見られるので、日本語を使うすべての人が、正しく日本語を使えるようになるようにすることを目指す。

評価の観点
【知識・技能】探究の過程で課題の発見・解決に必要な知識や技能を習得しているか。探究の意義や価値を理解しているか。 【思考・判断力・表現力】実社会や実生活と自分との関わりから問いを見つけ、課題を立て、情報を集め、分析し、まとめて表現できているか。 【主体性】探究に主体的・協働的に取り組んでいるか。互いの良さを活かしながら、新たな価値を創造し、より良い社会を実現しようとしているか。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	漢字 1	漢字や熟語の読み方と意味を理解し、適切に使い分けの事ができる。	面接指導① 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	漢字 2		
第3回	表記 1		
第4回	表記 2		
第5回	敬語 1	場面や相手に応じて、尊敬語や謙譲語を適切に使い分けの事ができる。	面接指導② 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第6回	敬語 2		
第7回	言葉の意味 1	慣用句などを含め、意味と用法を的確に把握することができる。	面接指導③ 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第8回	言葉の意味 2		
第9回	語彙 1	様々な言葉を正しく理解し、適切に使うことができる。	
第10回	語彙 2		
第11回	文法 1	規範的な文法にしたがって、論理的・効果的に文や文章を構成することができる。	面接指導④ 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第12回	文法 2		

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
外国語・英語コミュニケーションⅠ	4	All Aboard Communication EnglishⅠ Revised（東京書籍）	必修科目（通年履修）
評価方法	添削指導（12回）、試験（2回）、面接指導（8回）での評価		

指導目標
英語を通じて、コミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

評価の観点
【知識・技能】・外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。・外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。・外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主体性】・外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	Warm-Up □ 四 四 Pre-Lesson 1・2 Communication 1 英文のしくみ1 P4～P15	・アルファベットや単語を正しく書き、正しく発音する。 ・授業における典型的な場面よく使われる英語表現を学習する。 ・疑問詞のある疑問文と答え方を学習する。 ・be動詞・一般動詞を用いた文の形・意味・用法を学習する。 ・自己紹介に役立つ表現を身に付ける（自分の好きな教科や得意な科目について英語で表現する）。 ・英文の構造（[主語+動詞]、[主語+動詞+補語]、[主語+動詞+目的語]）について学習する。	面接指導①② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	Lesson1 Breakfast around the World P16～P23	・世界の朝食を紹介するスピーチ英文を読み、内容を把握するとともに重要表現を身に付ける。 ・接続詞becauseを用いて理由を述べる。 ・動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を学習する。 ・動詞の過去形を用いて過去にしたことを英語で表現する。	
第3回	Lesson2 Australia's Cute Quokkas 文法のまとめ1 P24～P33	・オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた英文を読み、内容を把握するとともに重要表現を身に付ける。 ・「be動詞と一般動詞」「過去形〈規則変化・不規則変化〉」「進行形〈be動詞+動詞の-ing形〉」を用いた文の形・意味・用法を復習する。 ・進行形を用いて「今していること」を英語で表現する。	
第4回	Lesson3 Life with Spade Communication 2 Let's Listen 1 P34～P43	・愛馬と共に過ごす暮らしについて述べられた英文を読み、内容を把握するとともに重要表現を身に付ける。 ・道案内をするにあたり役立つ英語表現を身に付ける。 ・相手を何かに誘う際に役立つ英語表現を身に付ける。 ・助動詞can、will、have toを用いた文の形・意味・用法を学習する。 ・助動詞canを用いて「自分ができること」を英語で表現する。	面接指導③④ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	Lesson4 A Miracle Mirror 英文Eメールの書き方 Extra Target 1 P44～P55	・海外の観光地について書かれた英文を読み、内容を把握するとともに重要表現を身に付ける。 ・to不定詞（to+動詞の原形）を用いた文の形・意味・用法を学習する。 ・英語でのEメールの書き方について学習する。 ・人物当てクイズに挑戦し、情報を整理する。 ・接続詞when、thatの用法を学習する。 ・to不定詞を用いて「自分がしたいこと」を英語で表現する。	
第6回	Lesson5 A Dream Engine Let's Listen 2 英文のしくみ2 文法のまとめ2 Reading1 Short Stories in English Extra Target P56～P73	・高校のユニークな取り組みについて書かれた英文記事を読み、内容を把握するとともに重要表現を身に付ける。 ・動名詞〈動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を学習する。 ・買い物の場面において役立つ英語表現を身に付ける。 ・英文の構造[主語+動詞+目的語+目的語]について学習する。 ・助動詞・to不定詞・動名詞・接続詞を用いた文の形・意味・用法を復習する。 ・英語で書かれたShort Storiesを読み、内容を把握するとともに重要表現を身に付ける。 ・「知覚動詞」を用いた文の形・意味・用法を学習する。 ・動名詞を用いて「自分が過去に楽しんだこと」を英語で表現する。	
第7回	Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period P74～P83	・歌川国芳の浮世絵に関して書かれた英文を読み、内容を把握するとともに重要表現を身に付ける。 ・受け身〈be動詞+過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を学習する。 ・自分の好きな絵とその理由を英語で説明する。	面接指導⑤⑥ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第8回	Lesson7 A Diary of Hope P84～P93	・アンネ・フランクの生活と彼女の日記について書かれた英文を読み、内容を把握するとともに重要表現を身に付ける。 ・比較表現〈-er〉〈the -est〉〈as+原級+as〉を用いた文の形・意味・用法を学習する。 ・比較表現を活用して2つのものを比較し、英語で描写する。	

第9回	Lesson8 A Door to a New Life Communication 3 英文のしくみ 3 文法のまとめ 3 P94～P107	・ロボットカフェに関して書かれた英文を読み、内容を把握するとともに重要表現を身に付ける。 ・乗り換え案内の場面においてよく使われる表現を身に付ける。 ・英文の構造[主語+動詞+目的語+補語]について学習する。 ・現在完了形〈have[has]+過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を学習する。 ・「受け身」「比較表現」「完了形」を用いた文の形・意味・用法を復習する。 ・現在完了を用いて「これまでに経験したこと」を英語で表現する。
第10回	Lesson9 Ghosts in the Oceans P108～P119	・海洋汚染やその解決に向けた取り組みについて書かれた英文を読み、内容を把握するとともに重要表現を身に付ける。 ・[名詞を後ろから説明する分詞]を用いた文の形・意味・用法を学習する。 ・プラスチックごみによる環境汚染の問題について調べ、考え、自分ができることを英語で表現する。
第11回	Lesson10 Pigs from across the Sea P120～P131	・第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助などに関して書かれた英文を読み、内容を把握するとともに重要表現を身に付ける。 ・関係代名詞who、which、thatを用いた文の形・意味・用法を学習する。 ・興味のある国とその国の文化や社会について知りたいことを英語で述べる。
第12回	Reading2 Mujina Extra Target 3 文法のまとめ 4 132～P141	・英語で書かれた物語Mujinaを読み、内容を把握するとともに重要表現を身に付ける。 ・仮定法過去〈If+過去形の文、I would[could] …〉を用いた文の形・意味・用法を学習する。 ・「名詞を後ろから説明する分詞」「関係詞（関係代名詞・関係副詞）」「句読法」を用いた文の形・意味・用法を学習する。 ・「もし私が〇〇なら…」と想像して、できることについて仮定法過去を用いて表現する。

面接指導⑦⑧

単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
外国語・英語コミュニケーションⅡ	4	All Aboard Communication English II（東京書籍）	選択科目（通年履修）英Ⅰ履修済みであること
評価方法	添削指導（12回）、試験（2回）、面接指導（8回）での評価		

指導目標
英語を通じて、コミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。

評価の観点
【知識・技能】・外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。・外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。・外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主体性】・外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	Pre-Lesson My Plans for This Year Lesson1 A Colorful Island P8～P19	・今年やってみたいことについて書かれた英文を読み、重要表現を学習する。旅行の報告がテーマの英文を読み、重要表現を学習する。 ・[want to 不定詞]を使って、今年やってみたいことや海外で行ってみたい場所について、英語で述べる。 - 関係代名詞whatについて学習し、子どものころなりたかったものに	面接指導①② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	Lesson2 With the Beatles P20～P29	・ラジオ番組におけるディスクジョッキーとリスナーの会話を読み、重要表現を学習する。 - 感覚や感情を表す語を学習する。 ・世代を超えて人気のある人物について、英語で述べる。 - 形容詞と副詞の比較級・最上級について学習し、2つ以上のものを比	
第3回	Lesson3 Wild Men P30～P41	・ヨーロッパの行事についての英文を読み、重要表現を学習する。 ・身近な行事について、英語で紹介する。 - Itの用法（It is ～to Vの構文）について学習し、ある行事に対する意見や感想を述べる。 - 関係代名詞what・比較表現・itの用法について総復習する。	

第4回	Lesson4 Little Hero P42～P55	・ハチドリの生態についての説明文と物語を読み、重要表現を学習する。世界自然遺産についての説明を聞き、内容を捉える。 ある留学生の一日の生活を英語でたどり、重要表現を身に付ける。 ・自分の好きな物語を英語で紹介する。間接疑問文について学習し、間接的に自分の疑問を伝える。現在完了進行形について学習し、	面接指導③④ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	Lesson5 Special Makeup in Kabuki P56～P69	・歌舞伎についての音声ガイダンスを英語で読み、重要表現を学習する。身体の各部分・ふだん身に付けている衣服に関する語を学習する。 ・日本の伝統文化について、英語で説明する。 to不定詞を含む表現について学習し、人にしてもらいたいことについ	
第6回	Reading1 Mujina P70～P77	・英語で書かれた物語『ムジナ』を読み、重要表現を学習する。 ・情景や登場人物の心情を想像し、感情を込めて朗読をする。 簡潔疑問文・to不定詞を含む表現について総復習する。 動詞の形と時の関係について学習する。	
第7回	Lesson6 Seeds for Future Generations P78～P91	・京都府立桂高校の京野菜部のグループ発表の英語を読み、重要表現を学習する。 さまざまな職業を表す語を学習する。 ・地元で有名な場所やものについて、英語で説明する。 将来就きたい職業とその理由を英語で述べる。	面接指導⑤⑥ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第8回	Lesson7 Over the Wall P92～P105	・アーティストのミヤザキケンスケさんが経歴や活動について語る英文を読み、重要表現を学習する。空港での入国審査における会話を読み、重要表現を身に付ける。ロンドン地下鉄の路線図をもとに、目的地への案内方法を学習する。 ・世界の人々と交流する方法について英語で述べる。	
第9回	Lesson8 Inspiration from Nature P106～P119	・自然科学をテーマにしたオンライン講演の英文を読み、重要表現を学習する。 ・自然界のデザインをヒントにした製品について、英語で発表する。知覚動詞について学習し、見たり聞いたりしたことについて、その様子を伝える。	
第10回	Lesson9 The Bitter Truth behind Chocolate P120～P133	・チョコレートをめぐる現実について書かれた雑誌記事の英文を読み、重要表現を学習する。 エッセイライティングのポイントを学習する。 ・社会的な問題について、英語で意見を述べる。 使役動詞について学習し、「～させてください」と許可を求める。	面接指導⑦⑧ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第11回	Lesson10 Fighting Angel P134～P147	・英国の看護師フローレンス・ナイチンゲールについて書かれた英文を読み、重要表現を学習する。 ・人を助ける職業について、英語で説明する。 分詞構文について学習し、「～しながら」と文に情報を加える。 使役動詞・分詞構文について総復習する。	

第12回	Reading2 Bear's Pie P148～P155	・英語で書かれた物語文『ベアーズ・パイ』を読み、重要表現を学習する。 - ある留学生の一日の生活を英語でたどり、重要表現を身に付ける。 ・物語の結末を考え、英語で台本を作り朗読劇を演じる。 学校に行く日の朝起きてから夜寝るまでの出来事を英語で述べる。
------	----------------------------------	---

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
外国語・英語コミュニケーションⅢ	4	All Aboard Communication English III（東京書籍）	選択科目（通年履修）英Ⅱ履修済みであること
評価方法	添削指導（12回）、試験（2回）、面接指導（8回）での評価		

指導目標
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。

評価の観点
【知識・技能】・外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声・語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ・外国語の音声・語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ・外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主体性】・外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	Lesson1 Gifts to Barcelona P4～P11	・アントニオ・ガウディとその建造物についての英文を解釈する ・建築物について英語で紹介する ・to不定詞・動名詞を用いて表現する	面接指導①② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	Lesson2 Akkamui P12～P19	・アッカムイ（エゾモモンガ）についての英文を解釈する ・生き物の特徴について英語で説明する ・現在完了形を用いて表現する	
第3回	Lesson3 Your True Colors P20～P27	・ファッションについての英文を解釈する ・ファッションについて英語でインタビューする ・使役動詞を用いて表現する	

第4回	Lesson4 Our Future Food? P28～P37	・食糧問題についての英文を解釈する ・食糧問題について英語で話し合えるようにする ・受け身を用いて表現する	面接指導③④ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	Lesson5 Madagascar P38～P47	・マダガスカルについての英文を解釈する ・地域の自然について英語でプレゼンテーションできるよう準備する ・関係代名詞を用いて表現する	
第6回	Reading1 The Fun They Had P48～P53	・The Fun They Hadというタイトルの物語文を読む ・物語の背景や登場人物の気持ちなどを意識しながら話の流れを掴む ・物語の内容に関する質問に英語で答える	
第7回	Lesson6 The Mystery of the Terracotta Warriors P54～P63	・秦の兵馬俑についての英文を解釈する ・訪れてみたい史跡について英語でまとまりのある文章を書く ・関係代名詞の非制限用法(who / ,which)を用いて表現する	面接指導⑤⑥ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第8回	Lesson7 Green Challenges P64～P73	・地球温暖化とエネルギー問題についての英文を解釈する ・再生可能エネルギーについて国や地域を比較して英語でプレゼンテーションできるよう準備する ・比較表現を用いて表現する	
第9回	Lesson8 Witnesses of War P74～P83	・広島島の路面電車にまつわる英文を解釈する ・経験したことや考えたことについて英語でまとまりのある文章を書く ・名詞を後ろから説明する分詞を用いて表現する	
第10回	Lesson9 The Wonders of Lightning P78～P95	・雷について書かれた英文を解釈する ・電気の有効活用について英語でディベートできるよう準備する ・仮定法過去を用いて表現する	面接指導⑦⑧ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第11回	Lesson10 Katherine's Long Journey P96～P105	・キャサリン・ジョンソンさんについて書かれた英文を解釈する ・社会に影響を与えた人物について英語でエッセイを書く ・関係代名詞(whose)を用いて表現する	

第12回	Reading2 Table for Two P106～P111	・ Table for Twoというタイトルの物語文を読む ・ 物語の背景や登場人物の気持ちなどを意識しながら話の流れを掴む ・ 物語の内容に関する質問に英語で答える
------	-------------------------------------	---

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
外国語・論理・表現Ⅰ	2	NEW FAVORITE English Expression I Revised（東京書籍）	選択科目（半期）英Ⅰ履修済み（中）であること
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（4回）での評価		

指導目標
話すこと〔やりとり〕，話すこと〔発表〕，書くことの三つの領域を重点的に扱い、発信力の強化を大きな目標として、基礎的な能力を養う。

評価の観点
【知識・技能】・外国語の学習を通じて、言語の動きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。・外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。・外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主体性】・外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	Unit1 Lesson1 初めての食事 Lesson2 道に迷う Lesson3 人物紹介 P14～P31	・食事で出された料理についての対話文を通して、褒める・勧める・断る際の表現を身に付ける。道案内についての対話文を通して、提案する・依頼する・道順を説明する際の表現を身に付ける。 人物について紹介するスピーチを通して、身近な人を紹介する際の表現や聞き手の注意を引くコツを身に付ける。 ・未来表現・可算名詞・不可算名詞・受動態・現在完了形と過去形・to不定詞と動名詞などの語法を意識しながら、重要表現を身に付け、 <u>自分の考えや意見を述べることができる。</u>	面接指導①② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	Lesson4 体調が悪い Lesson5 買い物 Lesson6 行ってみたい場所 P32～P49	・体調不良についての対話文を通して、症状の伝え方・体調の尋ね方・指示やアドバイスの仕方を学習する。買い物に出かけた際の対話文を通して、食材にまつわる表現・探しているものについて描写する方法・相づちの打ち方を身に付ける。 行ってみたい場所について書かれたパラグラフを通して、自分が希望することやその理由を読み手に分かりやすく述べるコツを習得する。 ・冠詞・人称代名詞・助動詞shouldとhad better・現在形と現在進行形・現在完了形と過去形・後置修飾・to不定詞と動名詞などの語法を意識しながら、重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べることができる。	
第3回	Lesson7 イベントに誘われる Lesson8 スクールカウンセラーに相談 Lesson9 お気に入りを紹介 P50～P67	・イベントに勧誘される場面の対話文を通して、英語での誘い方・誘いの受け方・誘いの断り方について学習する。スクールカウンセラーに相談する場面の対話文を通して、状況を説明する・手助けを申し出る・助言や提案をする・お礼や感謝を伝える際の英語表現を身に付ける。自分のお気に入りを紹介するスピーチを通して、映画や本のあらすじを要約する方法・登場人物などを紹介する表現・感想や批評を述べるコツを習得する。 ・未来表現・前置修飾・後置修飾などの語法を意識しながら、重要表現を身に付け、 <u>自分の考えや意見を述べることができる。</u>	
第4回	Lesson10 待ち合わせに遅刻 Lesson11 家庭でのディスカッション Lesson12 英字新聞に投稿 P68～P86	・待ち合わせに遅刻する場面の対話文を通して、相手に謝る・相手を許す・相手を励ます際の英語表現を学習する。家庭でディスカッションしている場面の対話文を通して、共感や残念な気持ちなどを述べたり、解決策を提案する際に役立つ英語表現を身に付ける。 英字新聞に投稿された記事を通して、理由とともに要望や主張を述べるパラグラフの書き方を習得する。ディベートを学ぶにあたって、基本事項を押さえる。 ・使役動詞・to不定詞と動名詞・仮定法などの語法を意識しながら、重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べることができる。	面接指導③④ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	Unit2 Lesson1 クラウドでディベート① Lesson2 クラウドでディベート② Lesson3 経験談のスピーチ Lesson4 遊びやスポーツを紹介 P87～P111	クラスでディベートをしている場面の対話文を通して、基本的な・ディベートの流れについて知る。主張やその理由の述べ方・具体例の挙げかたを学習する。相手の意見に反駁する方法・相手の意見を引用する方法を学ぶ。経験談のスピーチ原稿を通して、できごとを生き生きと描写するコツ・経験から得た教訓などをアドバイスする方法を習得する。 遊びやスポーツについて紹介・説明している英文を通して、ルールや手順を順序立てて説明する方法・聞き手の知識に合わせて説明する方法を身に付ける。 ・to不定詞と動名詞・否定語の使い方・後置修飾・受動態・現在完了形と過去形などの語法を意識しながら、重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べることができる。	

第6回	Lesson5 日本をPR Lesson6 物事の両面を伝える Lesson7 読み手を納得させる Lesson8 読み手を説得する P112～P135	・日本をPRするプレゼンテーションの英文を通して、事実と意見を区別して述べる方法や文化や習慣を説明する際の英語表現を学習する。物事の両面を伝える手本となるパラグラフを通して、利点と欠点の述べ方・話題を発展させる方法・話題の換え方を押さえる。 読み手を納得させる手本となるパラグラフを通して、自分の主張について理由を述べる方法、理由の要約の仕方を学ぶ。読み手を説得する手本となるパラグラフを通して、人の発言を直接引用する方法・条件を出して意見を述べる方法・説得する方法を身につける。 ・and、but、so・名詞と無生物主語などの語法を意識しながら、重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べることができる。 意見を論理的に述べる際に役立つディスコースマーカーを押さえる。
-----	--	--

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
外国語・論理・表現Ⅱ	2	NEW FAVORITE English ExpressionⅡ（東京書籍）	選択科目（半期）論表Ⅰ履修済みであること
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（4回）での評価		

指導目標
話すこと〔やりとり〕，話すこと〔発表〕，書くことの三つの領域を重点的に扱い、発信力の強化を大きな目標として、能力の定着を図る。

評価の観点
【知識・技能】・外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。・外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。・外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主体性】・外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	Lesson1 友達に報告する Lesson2 日本での初登校 Lesson3 経験についてのスピーチ Lesson4 ファンレター P8～P23	・友達に留学について報告する場面の会話文。留学生が日本の学校に初めて登校した場面の会話文。ボランティア活動の経験を紹介するスピーチ原稿。英語で書かれたファンレター。 ・訂正する・心配する・感謝する際の英語表現を身に付ける。驚く・繰り返す・言い換える際の英語表現を身に付ける。スピーチにて注意を引く・同意を求める際の英語表現を身に付ける。望む・褒める際の英語表現を身に付ける。	面接指導①② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	Lesson5 イベントに誘う Lesson6 図書館で資料さがし Lesson7 翻訳についてのスピーチ Lesson8 通信販売で返品依頼 P24～P39	・ポスターの内容を説明しイベントに誘う場面の会話文。図書館で資料を探し図書館司書に相談する場面の会話文。英語と日本語の翻訳の難しさについて述べられたスピーチ原稿。通信販売で交換（返品）依頼をするメール文。 ・誘う・説明する際の英語表現を身に付ける。聞き直す・依頼する際の英語表現を身に付ける。要約する・言い換える際の英語表現を身に付ける。困ったことを伝える・説明する・控えめに依頼する際の英語表現を身に付ける。	
第3回	Lesson9 タクシーの乗る Lesson10 友達とディスカッション Lesson11 比較結果のプレゼンテーション Lesson12 就きたい職業 P40～P56	・タクシーを利用する場面の会話文。学生たちによる言語についてディスカッション。今の学校生活と親の世代の学校生活の違いについて調査した結果を報告するプレゼンテーション。就きたい仕事とその理由について書かれたエッセイ。 ・依頼する・提案する際の英語表現を身に付ける。仮定する・反対する際の英語表現を身に付ける。報告する・比較して説明する際の英語表現を身に付ける。説明する・理由を述べる・仮定する際の英語表現を身に付ける。	
第4回	Lesson1 クラスでディベート① Lesson2 クラスでディベート② Lesson3 クラスでディベート③ P58～P69	・「市のタワー建設計画に賛成」という論題で展開されているディベート。 ・肯定側立論と否定側反駁において、推論する・賛成する・反対する際の英語表現を身に付ける。否定側立論と肯定側反駁において、主張する・推論する・賛成する・反対する際の英語表現を身に付ける。否定側まとめのスピーチにおいて、推論する・説得する際の英語表現を身に付ける。	面接指導③④ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	Lesson4 調査結果のプレゼンテーション Lesson5 社会問題についてのスピーチ P70～P77	・外国人への日本文化に関するアンケート調査とその結果を報告するプレゼンテーション。世界遺産に関する問題点とその対応策について述べられているスピーチ。 ・調査結果について、報告する・展望を述べる際の英語表現を身に付ける。問題について、説明する・主張する・提案する際の英語表現を身に付ける。	
第6回	Lesson6 仮定して推論する Lesson7 比較して説明する Lesson8 読み手を説得する P78～P90	・「30年後の未来が見えたら」というトピックで書かれた英文。海外ホームステイで体験したことについて、日本の生活と比較しながら書かれたエッセイ。留学経験をもとに、日本にあつたらしいと思うアメリカのスポーツに対する取り組みについて書かれたエッセイ。 ・仮定する・推論する際の英語表現を身に付ける。比較する・類似点と相違点を説明する英語表現を身に付ける。主張する・読み手を説得する際の英語表現を身に付ける。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
外国語・論理・表現Ⅲ	2	NEW FAVORITE English ExpressionⅢ（東京書籍）	選択科目（半期）論表Ⅱ履修済みであること
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（4回）での評価		

指導目標
話すこと〔やりとり〕，話すこと〔発表〕，書くことの三つの領域を重点的に扱い、発信力の強化を大きな目標として、積極的な発信能力を養う。

評価の観点
【知識・技能】・外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。・外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。・外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主体性】・外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	Lesson1 食糧問題についてディスカッションする Lesson2 メールで近況を伝える P14～P25	・食糧問題についてのディスカッションや、それに関する資料を解釈する。・身近な人に宛てた近況を伝えるメールを解釈する。・議論に必要な表現を学ぶ。・提示された問題に対する解決策を提案する。・個人的な出来事について書く。・自分の気持ちを表現する。	面接指導①② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	Lesson3 学校新聞でアドバイスする Lesson4 宇宙についてスピーチする P26～P37	・アドバイスをする文章を解釈する。・宇宙についてのスピーチ原稿を解釈する。・アドバイスの表現を学ぶ。・身近な人に助言をしたり、行動を促す文を書く。・あるテーマについて自分の意見を主張する。・仮定的な内容を述べる。	
第3回	Lesson5 イベントなどを説明する Lesson6 理想の場所や時間を描写する P38～P49	・イベントや行事を説明する文を解釈する。・理想の家を描写した文を解釈する。・イベントや行事などの基本情報や詳細を伝える文章を書く。・物の見た目を描写する文を書く。・頭に思い浮かんだイメージを伝える文を書く	

第4回	Lesson7 日本の観光をプレゼンテーションする Lesson8 趣味について書く P50～P61	・日本の観光地に関するプレゼンテーション原稿を解釈する。・趣味を説明している文章を解釈する。・物や場所の特徴を説明する。 ・自分の意見に説得力を持たせる。・物事が起きたきっかけを説明する文を書く。・読み手に興味を持たせる文を書く。	面接指導③④ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	Lesson9 物事を分析して評価する P62～P67	・テレビコマーシャルの評論を解釈する。・簡単な質問に対して理由と結果を含めて答える文を作る。・あるトピックについて、原因や因果関係を分析し、資料を使って自分の意見を主張する文を作る。	
第6回	Lesson10 学習環境についてディベートする P68～P80	・学習環境について考える。・ディベートを通して「立論する」「反駁する」「意見をまとめて再主張する」ができるようにする。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
公民・公共	2	公共（東京書籍）	必修科目（半期）
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（1回）での評価		

指導目標
幸福、正義、公正など、人間と社会の在り方についての見方・考え方をほたらかせ、現代の倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際関係などにかかわる諸課題を追及したり解決したりする活動をととして、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家や社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

評価の観点
【知識・技能】・社会的事象等について（～は～であると）理解し、その知識を身に付けている ・社会的事象等を調べまとめる技能（社会的事象等に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能）を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・社会的な見方・考え方をういて、社会的事象等を見出し、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察している ・社会的な見方・考え方をういて、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想している ・考察したことや構想したことについて、説明したり議論したりしている 【主体性】・学習対象（社会的事象等）について主体的に調べ分かつようとして課題を意欲的に追究している ・よりよい社会を考え学んだことを生かそうとしている

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	第1部 「公共」のとびら 第1章 青年期を生きる私たち 第2章 他者とともに生きる人間としてのあり方 第3章 公共的な空間における倫理 第4章 公共的な空間における基本原理 P8～P55	○青年期と自己形成、キャリアについて学習し、私たちが「公共的な空間」をつくりだしていく自立した主体であることを学びます。 ○《私》がそれぞれかけがえない個人とみなされること、他者や社会とさまざまなかかわりを結ぶ存在であること、伝統・文化の影響と向き合いながら価値観を形成する存在であることについて学びます。 ○三大世界宗教について学びます。 ○功利主義と幸福の原理、義務論と公正の原理について学び、生命倫理、環境倫理について考えを深めます。 ○倫理的な観点から物事を選択・判断する際の指針となる基本的な考え方を学びます。 ○他者とともにより望ましい社会を形成していく際の協働の方法や、社会制度をつくる基礎となる考え方について学びます。	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち テーマ1 P56～P85	○民主政治、地方自治のしくみと役割について学びます。 ○日本の国会、内閣の仕組みを学ぶとともに、世界の政治体制について学びます。 ○選挙や政党について学びます。 ○メディアと世論について学びます。 ○防災、投票率の低下について諸外国の取り組みについて理解し、メディアとの付き合い方について考えを深めます。	
第3回	第2章 法の働きと私たち テーマ2・3・4 P86～P115	○法は私たちの生活にどのようにかわるのか、法や規範の意義と役割について学びます。 ○法の適用とプロセスについて学びます。 ○現代の市民生活における私法の役割と意義について学びます。 ○消費生活と契約について学びます。 ○司法のしくみや役割、国民の司法参加について学びます。 ○裁判員制度について学びます。	
第4回	第3章 経済社会で生きる私たち テーマ5・6・7 P116～P151	○企業の経済活動や市場経済のしくみについて学びます。 ○価格決定のメカニズムや、資本主義の歴史と経済思想について学びます。 ○経済の指標や景気変動と物価について学ぶとともに、戦後の日本経済の動きについて学びます。 ○市場経済における金融のしくみと働きについて学びます。 ○財政の働きや課題について学びます。 ○社会保障の考え方や課題について学びます。 ○最低賃金の引き上げについて、考えを深めます。 ○起業家や資金調達について考えを深めます。 ○水平的公平について学びます。	
第5回	第4章 私たちの職業生活 テーマ8・9 第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ10・ テーマ11 P152～P179	○働くことの意義と職業選択について学びます。 ○これからのキャリア形成の課題について学びます。 ○労働者の権利と労働三法について学びます。 ○現代の雇用・労働問題について学びます。 ○国際社会のルールとしくみについて学びます。 ○日本の平和と安全はどのように守られてきて、どのように変化してきたのかについて学びます。 ○国際連合の専門機関が、どのような活動をしているのかについて学びます。	
第6回	第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ12・ テーマ13 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために P180～P219	○現代の紛争とその影響を把握し、平和な国際社会に向けて日本が果たすべき役割とは何かを学びます。 ○グローバル化する国際経済について学びます。 ○貿易のしくみや国際金融のしくみと動向について学びます。 ○戦後の国際経済の動きについて学びます。 ○今日の国際経済とその諸課題について学びます。 ○SDGsについて学びます。 ○課題解決に向けて、考察、構想し、自らの考えを説明、論述できるようになるためのプロセスについて学びます。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
公共・倫理	2	倫理（東京書籍）	選択科目（半期）
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（1回）での評価		

指導目標
人間集団の規律やルールである倫理を通して、人として歩むべき道筋を過去の人々からうけつぎながら、未来の新しい時代にそくした人間の生き方を考え、学んでいく。

評価の観点
【知識・技能】・社会的事象等について（～は～であると）理解し、その知識を身に付けている ・社会的事象等を調べまとめる技能（社会的事象等に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能）を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・社会的な見方・考え方をういて、社会的事象等を見出し、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察している ・社会的な見方・考え方をういて、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想している ・考察したことや構想したことについて、説明したり議論したりしている 【主体性】・学習対象（社会的事象等）について主体的に調べ分かつようとして課題を意欲的に追究している ・よりよい社会を考え学んだことを生かそうとしている

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方 1章 人間の心のあり方 2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	人間とは何か、人間の心の働きについて正しく理解することができる。古代ギリシャ思想について理解し、活用することができる。	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	3節 宗教と社会 4節 キリスト教 5節 イスラーム 6節 仏教 7節 中国の思想	宗教とは何か、宗教がどのように生まれ、社会に影響を与えたかについて正しく理解することができる。芸術について理解し、活用することができる。	
第3回	3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ 1節 近代と人間尊重の精神 2節 近代思想の展開 3節 人格の尊厳と人倫の思想 4節 社会変革の思想	近代の人間尊重の精神がどのように生まれ社会に影響を与えたかについて正しく理解することができる。社会変革の思想、理性への疑念について理解し、活用することができる。	
第4回	6節 人間観・言語観の問いなおし 7節 他者・自然とのかかわり 4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1節 日本人の精神風土 P121～P156	人間観・言語観の問い直し、他者・自然とのかかわり、日本人の精神風土について理解し、判断することができる。	
第5回	2節 仏教と日本人の思想形成 3節 儒教と日本人の思想形成 4節 国学の思想 5節 庶民の思想 6節 西洋思想と日本人の近代化	仏教と日本人の思想形成、儒教と日本人の思想形成、国学の思想、庶民の思想、西洋思想と日本人の近代化について理解し、判断することができる。	
第6回	7節 国際社会に生きる日本人の自覚 第2編 現代の諸課題と倫理 P199～P235	国際社会に生きる日本人の自覚、生命、自然、科学技術、福祉、文化と宗教、戦争と平和について理解し、判断することができる。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
公共・政治経済	2	政治経済（東京書籍）	選択科目（半期）
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（1回）での評価		

指導目標
グローバルな視野にたって、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治経済、国際関係などについて客観的に理解し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。

評価の観点
【知識・技能】・社会的事象等について（～は～であると）理解し、その知識を身に付けている ・社会的事象等を調べまとめる技能（社会的事象等に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能）を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・社会的な見方・考え方をういて、社会的事象等を見出し、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察している ・社会的な見方・考え方をういて、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想している ・考察したことや構想したことについて、説明したり議論したりしている 【主体性】・学習対象（社会的事象等）について主体的に調べ分かつようとして課題を意欲的に追究している ・よりよい社会を考え学んだことを生かそうとしている

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原則 2節 日本国憲法の基本原則 P4～P47	○民主政治の基本原則について理解し、現代社会における民主政治の価値や必要性を評価できる。 ○日本国憲法と大日本帝国憲法を比較し、日本国憲法的基本性格を理解し、いかに民主的であるかを評価することができる。 ○自衛隊を憲法9条や日米安保と関連付けて考察し、日本の平和主義を国際情勢の中で理解できる。 ○日本国憲法が保障する基本的人権について理解し、主な判例を条文と比較し、考察することができる。 ○時代により憲法や法律の改正が争点となることを理解し、具体的な事例について自分なりに考察できる。	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題 P48～P79	○立法のしくみと重要性を理解し、衆議院の優越の意義を評価できる。 ○行政のしくみを理解し、議院内閣制の意義を正しく評価できる。 ○地方自治のしくみと国政との相違点を理解し、直接請求権の意義を評価できる。 ○現代政治が抱える問題点を把握し、課題解決のあり方を考察することができる。 ○主権者としての自覚を深め、国民の司法参加のあり方や選挙制度の問題点を具体的な用語を用いて説明できる。	
第3回	第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ P80～P118	○資本主義経済の発展と優位性を評価し、現代における課題を把握することができる。 ○現代経済のしくみと企業に求められる役割と責任について、考察することができる。 ○国の経済規模のとらえ方を理解し、経済成長や景気変動による社会への影響について正しく評価できる。 ○金融と財政のしくみを把握し、それらに対する政府・日銀の果たすべき役割について理解できる。 ○現代経済の課題について、主体的に考え、説明できる。	
第4回	3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題 P119～P155	○日本経済の発展と課題を把握することができる。 ○公害と環境保全に必要な制度やしくみについて、正しく評価できる。 ○労働と社会保障についての権利と義務を正しく理解することができる。 ○現代経済の変化や課題について、主体的に考えよう。	
第5回	第3章 現代日本の諸課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治 P156～P203	○現代日本の課題を把握し、どのような解決策が適切か理解できる。 ○国連が抱える課題を把握し、改善の努力を理解できる。 ○近現代の国際秩序の形成過程に関心を持ち、日本の国際社会復帰も含め、新たな秩序が形成されてきたことが理解できる。 ○軍縮をはじめとする現代国際政治と日本の諸課題を把握し、それらに対する解決の糸口を考察できる。 ○現代の国際社会及び日本の課題について、主体的に考え、説明できる。	
第6回	第2章 現代の国際経済 第3章 国際社会の諸課題 P204～P254	○貿易と国際収支のしくみと課題を把握することができる。 ○発展途上国をふくむ戦後国際経済体制のしくみと課題を理解することができる。 ○グローバル化する世界経済の現状と課題及び地球的規模の課題への対処のあり方について理解できる。 ○国際社会が抱える諸課題について、正しく把握し、解決に向け考察できる。 ○グローバル化する国際経済、国際社会について、主体的に考えよう。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
数学・数学Ⅰ	4	改訂版 新数学Ⅰ（東京書籍）	必修科目（通年）
評価方法	添削指導（１２回）、試験（２回）、面接指導（２回）での評価		

指導目標
「数と式」、「二次関数」、「図形と計量」及び「データの分析」について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

評価の観点
【知識・技能】・数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。・事象を数学化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりする技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・事象を数学を活用して論理的に考察する力、思考の過程を振り返って本質を明らかにし統合的・発展的に考察する力を身に付けている。・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 【主体性】・数学のよさを認識し、数学を活用して粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとする。・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	数の計算 1. 整数の計算 P4～P11	数学Ⅰの学習の前に、基礎的な計算のしかたを確認する。 1. 整数のたし算 2. 整数のひき算 3. 整数のかけ算 4. 整数のわり算	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	2. 小数・分数の計算 3. 計算の利用 P12～P23	数学Ⅰの学習の前に、基礎的な計算のしかたを確認する。 1. 小数の計算 2. 分数の計算 3. 計算のくふう 4. 割合 5. 速さ 6. 単位 7. 四捨五入 8. 速さ・四捨五入	
第3回	4. 正負の数の計算 P24～P29	数学Ⅰの学習の前に、基礎的な計算のしかたを確認する。 1. 正負の数の大小とたし算 2. 正負の数のひき算、いくつかの数の計算 3. 正負の数のかけ算、累乗 4. 正負の数のわり算、いくつかの数の計算 5. いくつかの数の計算(3) 6. 正負の数の利用 7. 絶対値、数の大小について	
第4回	1章 数と式 1節 文字と式 P32～P47	単項式や多項式の計算を確認する。展開公式や因数分解公式を利用する。 1. 文字を使った式 2. 多項式と単項式 3. 多項式の計算（１） 4. 多項式の計算（２） 5. 乗法公式 6. 因数分解（１） 7. 因数分解（２） 8. 展開、因数分解のくふうと利	
第5回	2節 実数 P48～P57	平方根を学び、根号を含む式の計算の方法を確認する。また、数の分類を理解する。 1. 平方根 2. 根号をふくむ式の計算 3. 数の分類 4. 分数と小数	
第6回	3節 方程式と不等式 P58～P71	1次方程式や1次不等式の性質を学び、方程式や不等式を解くことができるようになる。また、2次方程式の解き方が分かり、解の公式を使うことができる。 1. 1次方程式 2. 不等式 3. 不等式の性質 4. 不等式の解 5. 不等式の解き方 6. 2次方程式とその解き方 7. 2次方程式の解の公式	
第7回	2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ P74～P91	関数について学び、1次関数、2次関数のグラフの特徴がわかり、グラフがかけられる。また、 $y = ax^2 + b x + c$ の変形ができ、グラフがかけられる。 1. 関数 2. 1次関数とそのグラフ 3. 2次関数とそのグラフ 4. グラフの平行移動 5. $y = ax^2 + bx + c$ のグラフ	面接指導② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。

第8回	2節 2次関数の値の変化 P92～P101	2次関数の最大値・最小値が求められるようになる。また、2次関数と2次方程式、2次不等式との関連が分かり、2次方程式、2次不等式が解けるようになる。 1. 2次関数の最大値・最小値 2. 2次関数のグラフと2次方程式 3. 2次関数のグラフと2次不等式 4. いろいろな2次不等式
第9回	3章 三角比 1節 鋭角の三角比 P104～P116	三角比を知り、値が求められる。また、三角比を利用して、いろいろな長さや高さが求められる。 1. 三角形 2. タンジェント 3. サインとコサイン 4. 三角比の利用 5. 三角比の相互関係
第10回	2節 三角比の応用 P117～P127	三角比を利用して、三角形の面積や辺、角の大きさを求めることができる。また、鈍角の三角比を理解し、利用することができる。 1. 三角形の面積 2. 正弦定理 3. 余弦定理 4. 鈍角の三角比 5. 三角比の相互関係 6. 鈍角の三角比の利用
第11回	4章 データの分析 P130～P147	データにもとづいて問題を解決するときの分析方法を学ぶ。また、代表値や分散を求められるようになり、データの比較ができる。 1. データにもとづいた問題解決の進め方 2. データの特徴の調べ方 3. 代表値 4. 四分位数と箱ひげ図 5. 分散と標準偏差 6. 相関関係 7. 相関係数 8. データにもとづく考え方
第12回	5章 集合と論証 P150～P160	集合を理解し、補集合や共通部分、和集合を求めることができる。また、命題と集合を理解し、必要条件や十分条件かを判断することができる。 1. 集合 2. 集合と命題 3. 命題と証明

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
数学・数学Ⅱ	4	新数学Ⅱ（東京書籍）	選択科目（通年）数学Ⅱ履修済みであること
評価方法	添削指導（１２回）、試験（２回）、面接指導（２回）での評価		

指導目標
「複素数と方程式」、「図形と方程式」、「三角関数」、「指数関数・対数関数」及び「微分法と積分法」の考えについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

評価の観点
【知識・技能】・数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。・事象を数学化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりする技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・事象を数学を活用して論理的に考察する力、思考の過程を振り返って本質を明らかにし統合的・発展的に考察する力を身に付けている。・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 【主体性】・数学のよさを認識し、数学を活用して粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとする。・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	1章 方程式・式と証明 1節 式の計算 P4～P11	①3次の乗法公式と因数分解を理解し、公式を使うことができる。 ② nCr が計算できる。 ③パスカルの三角形を理解し、それを使って係数を求めることができる。 ④二項定理の意味を理解し、 $(a+b)^n$ の n 乗を展開することができる。 ⑤分数式のたし算、ひき算、かけ算、わり算の仕方を理解し、正確に求めることができる。	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	2節 2次方程式 P12～P19	①複素数の意味を理解し、利用することができる。 ②2次方程式の解の種類を複素数まで広げて考えることができ、解を求めることができる。 ③解の条件から、判別式の条件式を立てることができる。 ④解と係数の関係を理解し、利用することができる。	
第3回	3節 高次方程式 4節 式と証明 P20～P32	①多項式どうしのわり算が計算できる。 ②剰余定理を用いて、多項式を1次式でわったときの余りを求めることができる。 ③因数定理を用いて、3次式を因数分解できる。 ④高次方程式を解くことができる。 ⑤等式を証明することができる。 ⑥不等式を証明することができる。 ⑦相加平均と相乗平均の関係を理解し、証明に利用できる。	
第4回	2章 図形と方程式 1節 座標と直線の方程式 P34～P51	【1】直線上の2点間の距離を求めることができる。 【2】直線上の線分の内分、外分を理解し、内分点や外分点の座標を求めることができる。 【3】平面上の2点間の距離を求めることができる。 【4】平面上の線分の内分、外分を理解し、内分点や外分点の座標を求めることができる。 【5】直線の方程式を求めることができる。 【6】2直線が平行、垂直であるときの条件を理解し、平行、垂直の直線の方程式を求めることができる。	面接指導② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	2節 円の方程式 3節 軌跡と領域 P52～P64	【1】円の方程式を理解し、立式できる。 【2】円の方程式から、中心と半径を求めることができる。 【3】円と直線の共有点の座標を求めることができる。 【4】円と直線の共有点の個数を求めることができる。 【5】軌跡を求めることができる。 【6】不等式が表す領域を図示することができる。	
第6回	3章 三角関数 1節 三角関数 P66～P77	【1】三角関数の一般角を理解し、動径が表す角の位置がわかる。 【2】角の範囲を一般角に広げたときの三角関数の定義がわかり、 30° 、 45° 、 60° を利用した三角関数の値を求めることができる。 【3】三角関数の相互関係を利用して、1つの三角関数の値から、他の2つの三角関数の値を求めることができる。 【4】三角関数のグラフを理解し、グラフをかくことができる。 【5】三角関数の周期を求めることができる。 【6】三角関数の性質を利用し、三角関数の値を求めることができる。	
第7回	2節 加法定理 P78～P84	【1】加法定理を理解し、三角関数の値を求めることができる。 【2】2倍角の公式を理解し、2倍角の値を求めることができる。 【3】三角関数の合成ができる。 【4】弧度法を理解し、角を弧度法で表すことができる。 【5】弧度法による三角関数の値を求めることができる。 【6】弧度法で表されたおうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。	

第8回	4章 指数関数と対数関数 1節 指数関数 P86～P95	【1】指数が整数の範囲で指数法則を利用し、計算することができる。 【2】累乗根を理解する。また、指数が分数をふくむときも指数法則を利用し、計算をすることができる。 【3】指数関数のグラフを理解し、それを利用して、大小比較や方程式を解くことができる。 【4】分数の指数のときの指数法則が成り立つことを示すことができる。	う。
第9回	2節 対数関数 P96～P104	【1】指数と対数の関係を理解し、式を変形することができる。 【2】対数の性質を利用し、対数の値や、底の等しい対数の和や差を求めることができる。 【3】対数のグラフを理解し、対数の値の大小を比較することができる。 【4】常用対数を理解し、常用対数で表された対数の値を求めたり、けた数を求めることができる。	
第10回	5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 P106～P115	【1】平均変化率について理解し、求めることができる。 【2】極限値を理解し、求めることができる。 【3】微分係数の定義を理解し、求めることができる。 【4】導関数の定義を理解し、求めることができる。 【5】微分することができる。 【6】接線の方程式を求めることができる。	
第11回	2節 導関数の応用 P116～P123	【1】増減表を理解し、増減表をかくことができる。 【2】極値を理解し、極大値や極小値を求めることができる。 【3】増減表や極値をもとに、グラフをかくことができる。 【4】3次関数の最大値・最小値を求めることができる。 【5】図形に3次関数を利用し、問題を解決することができる。	
第12回	3節 積分 P124～P133	【1】不定積分を理解し、不定積分を求めることができる。 【2】定積分を理解し、値を求めることができる。 【3】定積分と面積の関係を理解し、囲まれた図形の面積を求めることができる。 【4】2曲線に囲まれた面積を求める公式を導くことができる。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
数学・数学Ⅲ	4	新数学ⅢStandard（東京書籍）	選択科目（通年）数学Ⅱ履修済みであること
評価方法	添削指導（１２回）、試験（２回）、面接指導（２回）での評価		

指導目標
「平面上の曲線」，「複素数平面」，「関数と極限」，「微分」，「微分の応用」及び「積分とその応用」についての理解を深め，知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを積極的に活用する態度を育てる。

評価の観点
【知識・技能】・数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。・事象を数学化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりする技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・事象を数学を活用して論理的に考察する力、思考の過程を振り返って本質を明らかにし統合的・発展的に考察する力を身に付けている。・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 【主体性】・数学のよさを認識し、数学を活用して粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとする。・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	1章 関数と極限 1節 関数 P8～P23	【1】分数式で表される関数のグラフとその特徴について学び，実際にグラフにかくことができる。 【2】無理関数で表される関数のグラフとその特徴について学び，実際にグラフにかくことができる。 【3】逆関数について理解し，実際に求めることができる。 【4】合成関数について理解し，実際に求めることができる。	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	2節 数列の極限 1 数列の極限 P24～P30	【1】無限数列について学び，その数列が収束する場合に極限値を求めることができる。 【2】数列の収束と発散について，式変形をして求めることができる。 【3】収束する数列の実数倍や，2つの数列を加減乗除した形の数列の収束・発散について，式変形をして求めることができる。 【4】はさみうちの原理を利用して，三角関数の極限値を求めることができる。	
第3回	2 無限等比数列 3 無限級数 P31～P44	【1】rが収束，発散する条件を理解し，具体的な数列の極限を調べることができる。 【2】無限等比級数が収束，発散する条件を理解し，具体的な無限等比級数の極限を調べることができる。 【3】無限級数が収束，発散する条件を理解し，具体的な無限級数の極限を調べることができる。 【4】隣接2項間の漸化式を解いて，数列の極限値を求めることができる。 【5】図形への応用。1番目と2番目，2番目と3番目の関係から帰納的に漸化式を立て，極限値を求めることができる。	
第4回	3節 関数の極限 P45～P67	【1】無理関数や無理関数の収束，発散の条件を理解し，具体的な関数の極限を調べることができる。 【2】指数関数と対数関数，三角関数の収束，発散の条件を理解し，具体的な関数の極限を調べることができる。 【3】関数の連続性について理解し，分数関数や無理関数の場合について考察することができる。 【4】関数系が変わる定義域の端点において，極限値が存在するか否かの条件を理解することができる。 【5】中間値の定理について理解し，具体的な問題にあてはめることができる。	
第5回	2章 微分 1節 微分法 P68～P81	【1】微分係数の公式を理解し，具体的な x の値での微分係数を算出できる。 【2】微分可能な条件を理解し，実際の問題にあてはめることができる。 【3】導関数の定義式を理解し，定義式にあてはめて $f'(x)$，簡単な関数の導関数を導くことができる。 【4】積の微分と商の微分の公式を理解し，具体的な問題にあてはめることができる。 【5】合成関数の微分の公式を理解し，具体的な問題にあてはめることができる。 【6】rが有理数のとき，x^rの微分が $\frac{r}{x^{1-r}}$ になることを理解し，具体的な問題にあてはめることができる。 【7】逆関数の微分法を理解し，具体的な問題にあてはめることができる。	
第6回	2節 いろいろな関数の導関数 P82～P95	【1】三角関数の微分の公式を理解し，合成関数や積の微分・商の微分の公式と一緒に使うことができる。 【2】対数関数・指数関数の微分の公式を理解し，合成関数や積の微分・商の微分の公式と一緒に使うことができる。 【3】第 n 次導関数を理解し，帰納的な作業により導出することができる。 【4】対数微分法を理解し，具体的な関数にあてはめることができる。	

第7回	3章 微分の応用 1節 関数の増減 1 接線の方程式 P96～P107	【1】接線の公式を理解し、具体的な曲線の接線を扱うことができる。 【2】法線を理解し、具体的な曲線の法線を導くことができる。 【3】 ①両辺を x で微分することにより、dy/dx を x と y を用いて表すことができる。 ②③により求めた dy/dx を利用して、接線の方程式を導くことができる。 【4】媒介変数で表された関数の接線の方程式を導くことができる。 【5】2次曲線の接線の公式を導くことができる。	面接指導② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第8回	2 関数の増減 P108～P120	【1】平均値の定理を理解することができる。 【2】極値を理解し、極大値や極小値を求めることができる。 【3】曲線の凹凸や変曲点を理解することができる。 【4】増減表と極値、凹凸の表と変曲点をもとに、グラフをかくことができる。 【5】第2次導関数を利用して、極値を求めることができる。 【6】漸近線を求めることができる。	
第9回	2節 微分のいろいろな応用 P121～P137	【1】関数の最大値・最小値を、微分法を利用して求めることができる。 【2】微分法を利用して、不等式の証明や方程式の解の個数を調べることができる。 【3】微分法を利用して、動点Pの速度・加速度を求めることができる。 【4】微分法を利用して、近似値を求められる。 【5】平均値の定理を利用して、不等式を証明することができる。	
第10回	4章 微分とその応用 1節 不定積分 P138～P154	【1】$\int x^a$ を積分することができる。 【2】三角関数や指数関数の不定積分の公式を理解し、利用することができる。 【3】$\int f(ax+b)$ の不定積分の公式を理解し、利用することができる。 【4】置換積分法を理解し、具体的な関数を積分することができる。 【5】部分積分法を理解し、具体的な関数を積分することができる。 【6】部分分数に変形できる分数関数を部分分数に変形し、積分することができる。 【7】三角関数を和・差に直す公式を用いて、三角関数の積分をすることができる。	
第11回	2節 定積分 P155～P174	【1】単項式・多項式の定積分を求めることができる。 【2】絶対値のついた関数の定積分を求めることができる。 【3】置換積分法を利用して、定積分を計算することができる。 【4】偶関数・奇関数の定積分を、公式を利用して計算することができる。 【5】部分積分法を利用して、定積分を計算することができる。 【6】定積分で表された関数を扱うことができる。 【7】区分求積法の公式を理解し、具体的な問題を解くことができる。 【8】積分を利用して、不等式を証明することができる。	
第12回	3節 面積・体積・長さ P175～P198	【1】2つのグラフに囲まれた図形の面積を求めることができる。 【2】x 軸まわり、または y 軸まわりの回転体の体積を求めることができる。 【3】立体の断面積を用いて、体積を求めることができる。 【4】曲線の長さを求めることができる。 【5】動点Pの道のりを求めることができる。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
数学・数学A	2	改訂版 新数学A（東京書籍）	選択科目（半期）
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（1回）での評価		

指導目標
「場合の数と確率」、「図形の性質」及び「整数の性質」について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

評価の観点
【知識・技能】・数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。・事象を数学化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりする技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・事象を数学を活用して論理的に考察する力、思考の過程を振り返って本質を明らかにし統合的・発展的に考察する力を身に付けている。・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 【主体性】・数学のよさを認識し、数学を活用して粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとする。・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	1章 場合の数と確率 1節 場合の数 P4～P21	集合の表し方、用語・記号等の理解。和の法則や積の法則について場合の数を求められる。順列や組合せの違いについて理解し、総数を求める。 1. 集合の要素の個数 2. 順列 3. 順列の利用 4. 組合せの利用 5. 重複順列 6. 組合せの利用、積の法則 7. 円順列	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	2節 確率 ①～⑧ P22～P37	事象の確率について理解し、様々な確率を求めることができる。 1. 事象と確率 2. 確率の計算 3. 排反事象の確率 4. 余事象の確率 5. 独立な試行の確率 6. 反復試行の確率 7. 条件つき確率 8. 期待値	
第3回	2章 図形の性質 1節 平面図形の基礎 P40～P49	平面図形の基礎となる直線や角の用語・性質の理解。多角形の角の大きさの関係。三角形の合同と相似。定規とコンパスを使って基本の作図の方法を身につける。図形の性質を使った様々な作図の方法を学ぶ。 1. 直線と角 2. 平行線と角 3. 多角形の角 4. 三角形の合同と相似 5. 基本の作図 6. いろいろな大きさの角の作図	
第4回	2節 三角形の性質 P50～P57	三角形と比の性質を利用して線分の長さを求める。三角形の重心、外心、内心を求め、性質がわかる。角の二等分線と線分の比の関係を知る。 1. 三角形と比の性質 2. 中点連結定理の利用 3. 三角形の重心の性質 4. 三角形の外心の性質 5. 三角形の内心の性質 6. 角の二等分線と線分の比 7. 角の二等分線と線分の比の性質	
第5回	3節 円の性質 4節 空間図形 P58～P75	円の接線の性質や円周角の定理、接線と弦のつくる角と円周角との関係を理解する。方べきの定理、2つの円の位置関係の理解。空間図形における直線や平面の位置関係、多面体の種類や頂点、面や辺の数について調べる。 1. 円の接線 2. 円周角の定理 3. 四角形が円に内接する条件 4. 接線と弦のつくる角 5. 方べきの定理 6. 2つの円の位置関係 7. 空間における直線や平面の位置関係 8. 多面体	

第6回	3章 数学と人間の活動 1節 数や位置を表す 2節 数のつくりを調べる 3節 はかる 4節 数学で遊ぶ P78～P108	数の表し方を知り、2進法、10進法を学ぶ。点の位置の表し方、座標の考えを学ぶ。約数と倍数の性質。最大公約数と最小公倍数、ユークリッドの互除法の原理。 1. 数を表す 2. 数の表し方のしくみ 3. 2進法 4. 位置を表す 5. 約数と倍数 6. 最大公約数と最小公倍数 7. ユークリッドの互除法 8. 長さ・面積・体積の単位 9. 時計 10. 数で遊ぶ（魔法陣） 11. 図形で遊ぶ 12. 規則性で遊ぶ 13. 論理で遊ぶ
-----	---	--

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
数学・数学B	2	数学B Standard（東京書籍）	選択科目（半期）
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（1回）での評価		

指導目標
「確率分布と統計的性質」、「数列」、「ベクトル」について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

評価の観点
【知識・技能】・数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりする技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・事象を数学を活用して論理的に考察する力、思考の過程を振り返って本質を明らかにし統合的・発展的に考察する力を身に付けている。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 【主体性】・数学のよさを認識し、数学を活用して粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	1章 数列 1節 数列 P8～P26	【1】 数列の表し方や一般項について理解できる。 【2】 等差数列の初項、公差を理解し、一般項を求めることができる。 【3】 等差数列の和の公式を使って、和を求めることができる。 【4】 等比数列を理解し、一般項を求めることができる。 【5】 等比数列の和の公式を利用し、和を求めることができる。	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	2節 いろいろな数列 P27～P41	【1】 Σ記号の意味を理解し、和を求めることができる。 【2】 数列の和を Σ で表し、和を求めることができる。 【3】 階差数列を理解し、一般項を求めることができる。 【4】 数列の和 S_n から、一般項 a_n を求めることができる。 【5】 分数で表された数列の和を求めることができる。 【6】 等差数列 $\times$ 等比数列の和を求めることができる。 【7】 群数列について求めることができる。	
第3回	3節 漸化式と数学的帰納法 P42～P57	【1】 漸化式の表し方を理解し、項の値を求めることができる。 【2】 漸化式を、等差数列、等比数列、階差数列の公式を利用して、一般項を求めることができる。 【3】 数学的帰納法を用いて、方程式や不等式を証明することができる。 【4】 3項間の漸化式一般項を求めることができる。	
第4回	2章 統計的な推測 1節 標本調査 2節 確率分布 P58～P81	【1】 確率変数を理解し、確率分布表をつくったり、平均を求めることができる。 【2】 確率分布表から、平均や分散を求めることができる。 【3】 2つの変数の和の平均や分散を求めることができる。 【4】 二項分布を理解し、平均や分散を求めることができる。	
第5回	3節 正規分布 P82～P91	【1】 確率密度関数から、確率を求めることができる。 【2】 標準正規分布に従うときの確率を求めることができる。 【3】 正規分布に従うときの確率を求めることができる。 【4】 二項分布の正規分布による近似から確率を求めることができる。 【5】 正規分布の正規分布曲線を理解できる。	
第6回	4節 統計的な推測 P92～P111	【1】 母集団分布、母平均、母分散、母標準偏差を求めることができる。また、母集団の母平均、母分散から、標本平均の平均と分散を求めることができる。 【2】 母集団から抽出した標本平均から、正規分布を利用して確率を求めることができる。 【3】 信頼区間を理解し、信頼区間を求めたり、信頼区間の幅から標本の大きさを求めることができる。 【4】 仮説検定を理解し、検定することができる。 【5】 有意水準1%の仮説検定について考えることができる。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
数学・数学C	2	数学C Standard（東京書籍）	選択科目（半期）
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（1回）での評価		

指導目標
「ベクトル」，「平面上の曲線」と「複素数平面」について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

評価の観点
【知識・技能】・数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。・事象を数学化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりする技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・事象を数学を活用して論理的に考察する力、思考の過程を振り返って本質を明らかにし統合的・発展的に考察する力を身に付けている。・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 【主体性】・数学のよさを認識し、数学を活用して粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとする。・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	1章 ベクトル 1節 平面のベクトル P8～P33	【1】ベクトルを有向線分を用いてかくことができ、ベクトルの和・差・実数倍を理解し，式でも表現することができる。 【2】ベクトルの成分表示について理解し，大きさや平行などの事象にあてはめることができる。 【3】ベクトルの内積の定義について理解し，内積の値や2つのベクトルのなす角を求めることができる。 【4】ベクトルの成分を用いた内積の公式を理解し，ベクトルのなす角や垂直条件などの問題を解くことができる。 【5】内積の性質について理解し，公式を使うことができる。	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	2節 ベクトルの応用 3節 空間におけるベクトル P34～P71	【1】線分を内分する点，外分する点の位置ベクトルを表すことができる。 【2】2直線の交点の位置ベクトルを，2通りに表すことにより連立方程式を導き，求めることができる。 【3】直線が垂直に交わることを，ベクトルの内積を用いて証明することができる。 【4】直線のベクトル方程式を媒介変数を用いて表すことができる。 【5】点Pが線分上や三角形の内部と周，円周上にある条件をベクトル方程式を用いて表すことができる。 【6】空間のベクトルの和・差・実数倍を理解し，式でも表現することができる。 【7】ベクトルの成分表示について理解し，大きさも求めることができる。 【8】ベクトルの成分を用いた内積の公式を理解し，ベクトルのなす角や垂直条件などの問題を解くことができる。 【9】線分を内分する点，外分する点の位置ベクトルを表すことができる。 【10】中心と半径が与えられたときに，球の方程式を表すことができる。 【11】4点が同一平面上にある条件を，ベクトルを用いて表すことができる。 【12】2つの線分が垂直であることを，ベクトルを用いて表すこと	
第3回	2章 平面上の曲線 1節 2次曲線 P72～P96	【1】2次曲線（放物線，楕円，双曲線）の定義と標準形を理解し，具体的な問題にあてはめることができる。また，概形をかくことができる。 【2】曲線を平行移動した際の式について理解し，具体的な問題にあてはめることができる。 【3】2次曲線と直線の位置関係について理解し，判別式を用いて処理することができる。 【4】離心率について理解し，具体的な離心率の値に対して，軌跡を求めることができる。	
第4回	2節 媒介変数表示と極座標 P97～P113	【1】曲線の媒介変数表示を理解し，具体的にどのような曲線を表すかを答えることができる。 【2】極座標で表される点を，平面上で示すことができる。 【3】極方程式について理解し，円や直線の極方程式を表すことができる。 【4】直交座標で表される図形の方程式を，極座標の方程式に表すことができる。 【5】極座標で表される図形の方程式を，直交座標の方程式に表すことができる。 【6】2次曲線の極方程式について理解し，具体的な問題を解くことができる。	

第5回	3章 複素数平面 1節 複素数平面 2節 図形への応用 P114～P145	【1】複素数平面を理解し、具体的な複素数を複素数平面上で表すことができる。 【2】複素数平面を利用して、複素数の絶対値や2つの複素数の距離を求めることができる。 【3】複素数の極形式を理解し、絶対値と偏角が与えられた複素数を、複素数平面上で表すことができる。 【4】極形式を利用して、2つの複素数の積・商を求めることができる。 【5】ド・モアブルの定理を理解し、具体的な複素数の n 乗(n は整数)を求めたり、複素数の n 乗根を求めることができる。
第6回	4章 数学的な表現の工夫 1節 統計グラフに表す 2節 行列に表す 3節 離散グラフに表す P146～P178	【1】目的に応じて、データを適切なグラフに表すことができる。 【2】行列の和・差・積を計算することができる。 【3】離散グラフを理解し、一筆書きができるかできないかの判断に利用することができる。 【4】離散グラフを利用して、グループ分けに利用することができる。 【5】有向グラフと隣接行列を理解し、具体的な事象にあてはめることができる。

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
数学・数学Ⅰ α	2	改訂版 新数学Ⅰ（東京書籍）	選択科目（半期）数学Ⅰ履修済みであること
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（1回）での評価		

指導目標
「ベクトル」，「平面上の曲線」と「複素数平面」について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

評価の観点
【知識・技能】・数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりする技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・事象を数学を活用して論理的に考察する力、思考の過程を振り返って本質を明らかにし統合的・発展的に考察する力を身に付けている。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 【主体性】・数学のよさを認識し、数学を活用して粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	1章 数と式 1節 文字と式 P32～P47	単項式や多項式の計算を確認する。展開公式や因数分解公式を利用する。 1. 文字を使った式 2. 多項式と単項式 3. 多項式の計算（1） 4. 多項式の計算（2） 5. 乗法公式 6. 因数分解（1） 7. 因数分解（2） 8. 展開・因数分解の公式と利用	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。

第2回	2節 実数 3節 方程式と不等式 P48～P71	○平方根を学び、根号を含む式の計算の方法を確認する。また、数の分類を理解する。 1. 平方根 2. 根号をふくむ式の計算 3. 数の分類 4. 分数と小数 ○1次方程式や1次不等式の性質を学び、方程式や不等式を解くことができるようになる。また、2次方程式の解き方が分かり、解の公式を使うことができる。 1. 1次方程式 2. 不等式 3. 不等式の性質 4. 不等式の解 5. 不等式の解き方 6. 2次方程式とその解き方 7. 2次方程式の解の公式
第3回	2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ 2節 2次関数の値の変化 P72～P101	関数について学び、1次関数、2次関数のグラフの特徴がわかり、グラフがかけられる。また、 $y = ax^2 + bx + c$ の変形ができ、グラフがかけられる。 1. 関数 2. 1次関数とそのグラフ 3. 2次関数とそのグラフ 4. グラフの平行移動 5. $y = ax^2 + bx + c$ のグラフ 6. 2次関数の最大値・最小値 7. 2次関数のグラフと2次方程式 8. 2次関数のグラフと2次不等式 9. いろいろな2次不等式
第4回	3章 三角比 1節 鋭角の三角比 2節 三角比の応用 P104～P127	三角比を知り、値が求められる。また、三角比を利用して、いろいろな長さや高さが求められる。 1. 三角形 2. タンジェント 3. サインとコサイン 4. 三角比の利用 5. 三角比の相互関係 6. 三角形の面積 7. 正弦定理 8. 余弦定理

第5回	4章 データの分析 P130～P147	データにもとづいて問題を解決するときの分析方法を学ぶ。また、代表値や分散を求められるようになり、データの比較ができる。 1. データにもとづいた問題解決の進め方 2. データの特徴の調べ方 3. 代表値 4. 四分位数と箱ひげ図 5. 分散と標準偏差 6. 相関関係 7. 相関係数 8. データにもとづく考え
第6回	5章 集合と論証 P150～P160	集合を理解し、補集合や共通部分、和集合を求めることができる。また、命題と集合を理解し、必要条件や十分条件かを判断することができる。 1. 集合 2. 集合と命題 3. 命題と証明

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
数学・数学A α	2	改訂版 新数学A（東京書籍）	選択科目（半期）数学Ⅰ履修済みであること
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（1回）での評価		

指導目標
数学Ⅰ・Aの内容について問題演習を中心にを行い、より高い知識の習得と技能の習熟をめざす。

評価の観点
【知識・技能】・数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。・事象を数学化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりする技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・事象を数学を活用して論理的に考察する力、思考の過程を振り返って本質を明らかにし統合的・発展的に考察する力を身に付けている。・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 【主体性】・数学のよさを認識し、数学を活用して粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとする。・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	1章 場合の数と確立 1節 場合の数 P4～P21	集合の表し方、用語・記号等の理解。和の法則や積の法則について場合の数を求められる。順列や組合せの違いについて理解し、総数を求める。1、集合の要素の個数 2、順列 3、順列の利用 4、組合せの利用 5、重複順列 6、組合せの利用、積の法則 7、円順列	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	2節 確率 ①～④ P22～P29	事象の確率について理解し、様々な確率を求めることができる。 1、事象と確率 2、確率の計算 3、排反事象の確率 4、余事象の確率	
第3回	2節 確率 ⑤～⑧ P30～P37	独立な試行の確率、反復試行の確率、条件つき確率、期待値の意味を理解し、求めることができる。 1、独立な試行の確率 2、反復試行の確率 3、条件つき確率 4、期待値	
第4回	2章 図形の性質 1節 平面図形の基礎 P40～P49	平面図形の基礎となる直線や角の用語・性質の理解。多角形の角の大きさの関係。三角形の合同と相似。定規とコンパスを使って基本の作図の方法を身につける。図形の性質を使った様々な作図の方法を学ぶ。 1、直線と角 2、平行線と角 3、多角形の角 4、三角形の合同と相似 5、基本の作図 6、いろいろな大きさの角の作図	
第5回	2節 三角形の性質 P50～P57	三角形と比の性質を利用して線分の長さを求める。三角形の重心、外心、内心を求め、性質がわかる。角の二等分線と線分の比の関係を知る。 1、三角形と比の性質 2、中点連結定理の利用 3、三角形の重心の性質 4、三角形の外心の性質 5、三角形の内心の性質 6、角の二等分線と線分の比 7、角の二等分線と線分の比の性質	
第6回	3節 円の性質 4節 空間図形 P58～P75	円の接線の性質や円周角の定理、接線と弦のつくる角と円周角との関係を理解する。方べきの定理、2つの円の位置関係の理解。空間図形における直線や平面の位置関係、多面体の種類や頂点、面や辺の数について調べる。 1、円の接線 2、円周角の定理 3、四角形が円に内接する条件 4、接線と弦のつくる角 5、方べきの定理 6、2つの円の位置関係 7、空間における直線や平面の位置関係 8、多面体	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
保健体育・体育	8	最新高等保健体育 大修館書店 アクティブスポーツ 大修館書店	必履修科目
評価方法	添削指導（8回）、試験（筆記試験での評価はしない）、面接指導（16回）での評価		

指導目標
各種の運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続的する資質や能力を育てる。

評価の観点
【知識・技能】運動に関する知識や健康・安全に関する知識を身につけ、基本的な技能を習得しているか。 【思考・判断力・表現力】運動の課題に対して解決策を考え、判断し、表現できるか。また、健康課題に対しても同様に考え、判断し、表現できるか。 【主体性】運動や健康に関心をもち、自ら積極的に学習に取り組んでいるか。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	・スポーツの始まりと変遷 ・文化としてのスポーツ	・スポーツがどのように始まったのかを説明できる。 ・なぜスポーツが世界中に広まったのかを説明できる。 ・運動との比較から文化としてのスポーツの特徴を説明できる。 ・多様なかわり方によるスポーツ文化の変容について例をあげて説明できる。	面接指導①②③④ 体育館における体育実技と教室での体育理論の授業を行う。（体育実技の内容は、体育館で「体づくり運動」「ダンス」を行う。）などを球技としてバドミントンとバスケットボール
第2回	・オリンピックとパラリンピックの意義 ・スポーツが経済に及ぼす効果	・オリンピズムとオリンピックの価値について説明できる。 ・パラリンピックの価値について具体例をあげながら、パラリンピックの意義について説明できる。 ・スポーツが経済活動でどのように重要な役割を果たしているかを説明できる。 ・スポーツにかかわる業種について例をあげて説明できる。	
第3回	・スポーツの高潔さとドーピング ・スポーツと環境	・スポーツの高潔さを脅かす要因について例をあげて説明できる。 ・ドーピングがなぜスポーツを破壊する行為になるのかを具体的に説明できる。 ・スポーツにおける環境問題について例をあげて説明できる。 ・スポーツは環境とどのように調和していけばよいのか説明できる。	面接指導⑤⑥⑦⑧ 体育館における体育実技と教室での体育理論の授業を行う。（体育実技の内容は、体育館で「球技」としてバドミントンとバスケットボールを行う。）
第4回	・スポーツにおける技能と体力 ・スポーツにおける技術と戦術	・技能と体力の関係について説明できる。 ・技能や体力を高めるときに気をつけるべき点をあげることができる。 ・技能の型の違いやそれぞれの練習のしかたを説明できる。 ・用具の改良やメディアの発達などによる技術や戦術、ルールの変化を説明できる。	
第5回	・技能の上達過程と練習 ・効果的な動きのメカニズム	・技能がどのようなステップを経て上達するかを説明できる。 ・練習によって技能が上達すると、どのような特徴がみられるかをあげることができる。 ・体の動きはどのようなしくみで開始され、持続していくのか説明できる。 ・よい動きを支える調整力について例をあげて説明できる。	面接指導⑨⑩⑪⑫ 体育館における体育実技と教室での体育理論の授業を行う。（体育実技の内容は、体育館で「ダンス」「球技」としてバレーボールを行う。）
第6回	・体力トレーニング 運動やスポーツでの安全の確保	・目的に応じたさまざまなトレーニングの方法を説明できる。 ・筋力、持久力、調整力、柔軟性を高める具体的な方法をあげることができる。 ・スポーツ外傷とスポーツ障害の違いを説明できる。 ・スポーツ活動中に起きる重大な事故をあげ、その発生原因と予防方法を説明できる。	
第7回	・生涯スポーツの見方・考え方 ・ライフスタイルに応じたスポーツ	・社会の変化にともなってスポーツの役割がどのように変化したのかを説明できる。 ・ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方を説明できる。 ・「する」にかかわるスポーツライフスタイルについて例をあげ説明できる。 ・現在の自分のスポーツライフの諸条件を整理し、今後の豊かな設計のための諸条件や工夫のしかたの例をあげられる。	面接指導⑬⑭⑮⑯ 体育館における体育実技と教室での体育理論の授業を行う。（体育実技の内容は、体育館で「球技」を行う。）
第8回	・スポーツを推進する取り組み 豊かなスポーツライフの創造	・国内でスポーツを推進してきた従来の取り組みを説明できる。 ・自分が住んでいた身近な地域におけるスポーツ推進の取り組みについて例をあげられる。 ・これまでとこれからのスポーツライフの違いを説明できる。 ・豊かなスポーツライフを創造していくための課題について例をあげて説明できる。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
保健体育・保健	2	最新高等保健体育 大修館書店	必修科目（半期）
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（1回）での評価		

指導目標
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

評価の観点
【知識・技能】運動に関する知識や健康・安全に関する知識を身につけ、基本的な技能を習得しているか。 【思考・判断力・表現力】運動の課題に対して解決策を考え、判断し、表現できるか。また、健康課題に対しても同様に考え、判断し、表現できるか。 【主体性】運動や健康に関心をもち、自ら積極的に学習に取り組んでいるか。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	健康の考え方と成り立ち 生活習慣病の予防と回復 運動と健康 ほか	・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。 ・生活習慣病の種類と要因について説明できる。 ・生活習慣病の一次予防、二次予防について例をあげて説明できる。 ・健康と運動の関係について説明できる。 ・目的に応じた健康的な運動のしかたについて例をあげて説明できる。	面接指導① 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 精神疾患の特徴 現代の感染症 ほか	・喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。 ・喫煙対策について、個人と社会に分けて例をあげて説明できる。 ・飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる。 ・飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について例をあげて説明できる。 ・精神疾患を予防する方法について説明できる。 ・精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる。 ・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。 ・新型コロナウイルスと重傷感染症が流行する要因をそれぞれ説明できる。	
第3回	健康に関する意思決定・行動選択 事故の現状と発生要因 応急手当の意義とその基本 ほか	・意思決定・行動選択に影響を与える要因について説明できる。 ・健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について例をあげて説明できる。 ・事故の実態と被害の実態について説明できる。 ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて例をあげて説明できる。 ・応急手当の意義について説明できる。 ・傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントをあげることができる。	
第4回	ライフステージと健康 妊娠・出産と健康 中高年期と健康 ほか	・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。 ・妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。 ・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。	
第5回	働くことと健康 健康的な職業生活 環境と健康にかかわる対策 ほか	・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 ・働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。 ・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 ・産業廃棄物の処理について説明できる。	
第6回	食品の安全性 医療サービスとその活用 医療品の制度とその活用 健康に関する環境づくりと社会参加 ほか	・食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 ・食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。 ・わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 ・さまざまな医療機関の役割について説明できる。 ・医薬品の正しい使用法について説明できる。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。 ・健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。 ・環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
芸術・書道	2	書道Ⅰ（東京書籍）	必履修修科目（半期）
評価方法	添削指導（6回）、試験（筆記試験での評価はしない）、面接指導（4回）での評価		

指導目標
鑑賞活動を通して、書を愛好し、日常生活における書への関心を高め、意欲的、主体的にその美しさを味わおうとする。また、書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統を幅広く理解し、そのよさや美しさを深く味わう。

評価の観点
【知識・技能】書の特質に即した見方・考え方を働かせて、表現方法、形式、書表現の多様性を理解したり、生活や社会の中での文字や書の働き、書の伝統と文化について、創造的な表現と鑑賞の活動を通して理解できる。書の特質に即した見方・考え方を働かせて、意図に基づいた創造的な表現を構想し工夫するために、用具・用材の特徴を理解し、書の伝統に基づく効果的な書表現の技能を身に付ける。 【思考・判断力・表現力】書の特質に即した見方・考え方を働かせて、書のよさや美しさ感受し、自らの意図に基づいて豊かに構想し、効果的に表現を工夫できる。書の特質に即した見方・考え方を働かせて、書のよさや美しさを創造的に味わうとともに、文字や書の効用を考え、作品の意味や価値を見出し、書の伝統と文化について深く捉えられる。 【主体性】書の特質に即した見方・考え方を働かせて、書の創造的活動の喜びを味わい、生活や社会の中での文字や書の働き、書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組むことができる。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	書写から書道へ P4～P11	○中学校の書写で学習したことの確認をする。 ○楷書・行書の基本、書く際の配列の基本を学ぶ。 ○書道で使用する「用具・用材」について学ぶ。 ○基本の姿勢や執筆法を学び、書く作品により、使い分ける必要があることを学ぶ。	面接指導①② 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	漢字の書 漢字の成立と変遷 拓本 楷書 P12～P41	○漢字の成立と変遷について学ぶ。 ○漢字の書の学習は古典を知り、学ぶことから始まることを理解する。 ○楷書の特徴について学ぶ。 ○代表的な楷書作品の人物と時代、作品の概要について学ぶ。	
第3回	行書 P42～P62	○行書の学習について、中学校で学習した基礎部分から高等学校書道科で学ぶ行書の特徴を理解する。 ○代表的な行書作品の人物・時代・作品の概要について学ぶ。	
第4回	草書 隸書 篆書 P63～P77	○草書・隸書・篆書、それぞれの成立・特徴について学ぶ。 ○創作とは何か、創作の手順を学び、自分の作品を作ってみる。 ○鑑賞の観点を学び、鑑賞をする。	面接指導③④ 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	仮名の書 P78～P107	○仮名の成立について学ぶ ○平仮名の単体、変体仮名、連綿について学ぶ ○仮名の古筆作品について、作品の概要・時代と人物を学ぶ。 ○古筆の種類について学ぶ	
第6回	漢字仮名交じりの書 篆刻・刻字 P108～P142	○漢字仮名交じりの書の表現について学ぶ。 ○生活の書について学ぶ。 ○篆刻・刻字について学ぶ。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
家庭・家庭基礎	2	家庭基礎（東京書籍）	必履修修科目（半期）
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（2回）での評価		

指導目標
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

評価の観点
【知識・技能】生活を科学的に理解し、自立した生活者に必要な知識・技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】家族・家庭や社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、その解決のために、生活を科学的に探究し、生涯を見通して生活を創造している。 【主体性】自立した生活者に必要な知識・技能を身に付け、地域社会に参画し、共に支え合う社会の実現に向けて、家庭や地域の生活を創造し、主体的に実践しようとしている。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	家族・社会との共生 第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる P12～P37	○生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。 ○自立の種類と内容を理解する。 ○意思決定とは何かを理解し、意思決定の5段階と資源について考える。 ○人口減少時代が到来していることを理解し、これからの時代をどう生きていくかを考える。 ○家族・家庭と私たちの生活の結びつきを理解し、社会制度としての家族や家族について考える。 ○職業労働と家事労働の違いを理解し、見直される性別役割分業意識を自分自身にも関わることに意識する。	面接指導① 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	第3章 子どもと共に育つ 第4章 超高齢社会を共に生きる P38～P77	○命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について理解する。 ○子どもの発達過程について理解してする。 ○超高齢社会の背景を知ったうえで、高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か理解する。 ○介護保険制度について理解する。 ○地域のつながりの大切さを理解し、地域のなかで暮らしていくために必要なことは何かを考える。	
第3回	第5章 共に生き、共に支える生活の自立 第6章 食生活をつくる 1～5 P78～P127	○誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。 ○よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。	
第4回	第6章 食生活をつくる 6・7 第7章 衣生活をつくる P128～P165	○郷土食や行事食などのよいところを継承・創造するために、日本の食文化の特徴を確認する。また、世界の食文化にも関心を持ち、私たちの食生活への影響に気づく。 ○人間が被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。また、用途に合った着装を実践できる力を身につけるために、社会生活を営むうえでの被服の役割を理解する。 ○被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身につけるために、被服の材料や性能、加工について科学的に理解する。 ○環境に配慮した衣生活について考え、実践できる力を身につけるために、被服の洗濯や保管方法を科学的に理解する。 ○日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について知り、日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装について理解する。 ○全ての人が健康・安全・快適な衣生活を営むためのユニバーサルデザイン	面接指導② 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	第8章 住生活をつくる P166～P185	○生涯を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために、私たちの毎日の生活を支える生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住欲求を理解する。 ○防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深める。 ○日本の住文化の継承・創造に寄与するために、気候や風土の違い、時代の変化によって、大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。 ○持続可能な住宅や、自助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、まちづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について理解する。	

第6回	第9章 経済生活を営む 第10章 持続可能な生活を営む 生活の創造 第11章 これからの生活を創造する P186～P219	○自立した消費者として適切に意思決定を行う。 ○生涯を見通して経済生活をマネジメントする力を身につける。 ○持続可能な社会の構築に向け、毎日の生活でできることを取り組むことができる。 ○人生の目標設定を達成し、自分らしい生活が実現できるよう生活設計をすることができる。 ○これから持続可能な社会を構築していくために、何ができるか考えて行動できる。
-----	---	---

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
家庭・家庭総合	4	家庭総合（東京書籍）	選択必修修科目（通年）
評価方法	添削指導（１２回）、試験（２回）、面接指導（４回）での評価		

指導目標
人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

評価の観点
【知識・技能】生活を科学的に理解し、自立した生活者に必要な知識・技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】家族・家庭や社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、その解決のために、生活を科学的に探究し、生涯を見通して生活を創造している。 【主体性】自立した生活者に必要な知識・技能を身に付け、地域社会に参画し、共に支え合う社会の実現に向けて、家庭や地域の生活を創造し、主体的に実践しようとしている。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	家族・社会との共生 第1章 生涯を見通す P10～P19	○生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。 ○自立の種類と内容を理解する。 ○意思決定とは何かを理解し、意思決定の5段階と資源について考える。 ○目標達成や問題解決に役立つ資源を理解する。 ○生活設計について考え、人生において自分が想定したことと異なるイベントが発生することを理解し、どのようなイベントが発生するかを予測し、考えをまとめる。	面接指導① 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	第2章 人生をつくる P20～P43	○人口減少時代が到来していることを理解し、これからの時代をどう生きていくかを考える。 ○家族・家庭と私たちの生活の結びつきを理解し、社会制度としての家族や家族について考える。 ○職業労働と家事労働の違いを理解し、見直される性別役割分業意識を自分自身にも関わることを意識する。 ○家庭や地域のよりよい生活を創造できるよう仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて理解する。	
第3回	第3章 子どもと共に育つ P44～P75	○命に対する責任や、社会の一員としての次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について理解する。 ○子どもの生活習慣や衣食住について理解する。 ○子供が生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。 ○子どもとの触れ合いや、親や保育者と子どもの関わり方を観察する。 ○社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解する。	
第4回	第4章 超高齢社会を共に生きる P76～P93	○超高齢社会の背景を知ったうえで、高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か理解する。 ○介護保険制度について理解する。 ○高齢者支援方法や関わり方について理解する。 ○加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深め、高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。 ○地域のつながりの大切さや理解し、地域のなかで暮らしていくために必要なことは何かを考える。	面接指導② 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	第5章 共に生き、共に支える P94～P103	○誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。 ○共に支え合う社会の実現に向けて、国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。 ○私たちが多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会に向けて、個人や地域はどのような役割を果たし、つながっていけばよいかを理解する。 ○自然災害から自分や家族、地域の人の生命や健康を守る方法を自助・公助・共助の面から考える。	
第6回	生活の自立 第6章 食生活をつくる 1～4 P104～P133	○よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。 ○自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。 ○安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。 ○各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、「健康によい、栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを学ぶ。	

第7回	第6章 食生活をつくる 5～7 P134～P161	○調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉え、配膳やマナーにも関心を持つ。 ○日本の食文化の特徴や変遷を確認し、世界の食文化にも関心を持ち、私たちの食生活への影響に気づく。 ○安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。	面接指導③ 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第8回	第7章 衣生活をつくる 1～3 P162～P181	○私たちが被服を着用するに至った社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。また、用途に合った着装を実践できる力を身につけるために、社会生活を営むうえでの被服の役割を理解する。 ○被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身につけるために、被服の材料や性能、加工について科学的に理解する。 ○環境に配慮した衣生活について考え、実践できる力を身につけるために、被服の洗濯や保管方法を科学的に理解する。	
第9回	第7章 住生活をつくる 4～6 P182～P203	○目的に合った被服を製作するために、被服が身体の形に合わせてどのように構成されているか理解する。 ○現代に受け継がれる日本の衣文化の工夫を受け継ぐために、日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について知り、日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装について理解する。 ○次世代に引き継げる衣生活の在り方を考えるために、資源の消費の視点で自分の衣生活を見直す。また、全ての人が健康・安全・快適な衣生活を営むためのユニバーサルデザインの被服について理解する。	
第10回	第8章 住生活をつくる P204～P231	○私たちの毎日の生活を支え生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住要求を知る。 ○自らの住生活に生かすことができるよう、防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深め、快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を知る。 ○日本の住文化の継承・創造に寄与するために、気候や風土、歴史や民族の違い、時代の変化によって、大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。 ○持続可能な住居や、自助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、まちづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について理解する。	面接指導④ 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第11回	第9章 経済生活を営む P232～P257	○自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について学ぶ。 ○販売方法や支払い方法が多様化の中で責任ある消費行動が取れるよう、契約の重要性について学ぶ。 ○消費者保護制度について学び、消費者の権利と責任の変遷を踏まえ、どうすれば消費者市民社会が実現できるか考えて行動する。 ○生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について学ぶ。 ○家計の構造やリスクを踏まえた金融資産のマネジメントについて学ぶ。 ○家計と地域経済・国民経済・国際経済のつながりについて学び、どうすれば持続可能な経済成長が実現できるか考えて行動する。	
第12回	第10章 持続可能な生活を営む生活の創造 第11章 これからの生活を創造する P258～P273	○持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境との関わりについて理解する。 ○持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫し、一人の主体者として社会全体をよりよい方向に動かすよう努力する。 ○人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計をする。 ○これから持続可能な社会を構築するために、何ができるか考えて行動する。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
情報・情報Ⅰ	2	新編 情報Ⅰ（東京書籍）	必履修修科目（半期）
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（2回）での評価		

指導目標
情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。

評価の観点
【知識・技能】情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識と技能を身に付け、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。 【思考・判断力・表現力】事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用している。 【主体性】情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報及び情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	1章 情報で問題を解決する P7～P34	・情報という用語の意味を理解する。 ・メディアという言葉の意味と、3つのメディアについて理解する。 ・メディアリテラシーが何か、なぜ必要なのかを理解する。 ・問題解決の5つの段階を理解する。 ・発想法について理解する。 ・情報モラルの重要性について理解する。 ・知的財産権について理解する。 ・肖像権について理解する。 ・SNSの利用上の留意点を理解する。 ・著作権の例外に該当する引用を正しく理解する。 ・情報技術の発展の良い面と悪い面を比較しながら理解する。 ・メディアリテラシーについて利点と欠点を説明できる。	面接指導① 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	2章 情報を伝える P35～P62	・ネットコミュニケーションのメリットとデメリットを理解する。 ・実名の特徴と匿名の特徴を理解する。 ・デジタルとアナログの違いを理解する。 ・デジタルの特徴を理解する。 ・デジタルの世界で使われる用語を正しく用いる。 ・標準化、量子化、符号化の順番と意味を理解する。 ・圧縮について違いを理解する。 ・ビット、バイトの意味が分かる。 ・画像のデータ量を計算する。 ・情報デザインの方法について理解する。 ・抽象化、可視化、構造化の意味と実例が分かる。 ・デザイン思考のプロセスを理解する。 ・フェイクニュースの特性を知り、広まる理由を考える。	
第3回	3章 コンピュータを活用する P63～P90	・コンピュータを構成する5大装置について、具体的な名称と機能を理解しているか。 ・5大装置以外の部分を理解しているか。 ・基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの関係を理解できているか。 ・機械語やソースコードなど基本的な用語を理解できているか。 ・3つの基本論理回路での出力を理解できているか。 ・半加算器での演算結果を正しく答えることができるか。 ・アルゴリズムとは何かを理解できているか。 ・プログラムで用いる関数の意味や機能が分かっているか。 ・プログラムの基本構造が理解でき、順次、分岐、反復の具体例がわかるか。 ・簡単なプログラムの実行結果を示せるか。 ・シミュレーションの有効性が具体例とともに理解できているか。 ・APIの意味を理解し、メリットを説明できるか。 ・自動車の衝突実験ではなぜシミュレーションがよいのかを考え、その理由を説明できるか。	

第4回	4章 データを活用する P91～P118	・情報通信ネットワークで用いる基本的な用語を理解している。 ・インターネットの仕組みが理解できている。 ・自宅や学校からどのようなルートでインターネットにアクセスしているのか理解している。 ・情報セキュリティの機密性、完全性、可用性について意味と必要性を理解している。 ・具体的事例について、機密性、完全性、可用性のどれなのか区別することができる。 ・認証方法の違いを理解しているか。 ・悪意のあるソフトウェアについて理解しているか。 ・データの種類と違いを司会しているか。 ・データベースの活用事例を日常生活に照らして理解している。 ・データ分析の手法とデータ分析の留意点を理解している。 ・相関係数について理解しているか。 ・クラウドサービスの利点を理解し、説明できるか。 ・データの収集と検証の関係を説明できるか。	面接指導② 単元内容について、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	5章 活動して提案する P119～P152	・以下の実習項目について、重要なポイントが理解できている。 *発想法 *インタビューの留意点 *マイルール作成方法 *言葉で図形を伝達する方法 *音楽ファイルの作成方法 *データ量の計算 *ビクトグラムの作成 *文書処理ソフトウェアを使った図解表現 *HTMLでの記述方法 *映像制作の流れ *Pythonでのプログラミング方法 *マイコンボードの活用 *家具の配置シミュレーション *Scratchでのプログラミング方法 *パケット通信の仕組み *WebAPIの活用 *LANの構成 *情報検索のコツ *データベースソフトウェアの扱い方 *アンケート調査とデータの分析方法 ・文字の読みやすさ・色の識別・カメラワークについて理解できている。	
第6回	巻末 P154～P187	- 以下の項目について、重要なポイントが理解できている。 *文書処理ソフトウェア *プレゼンテーションソフトウェア *表計算ソフトウェア *電子メール *問題解決のツール *ファイル形式と種類 *色彩 *文字 *Webページの構造 *情報に関連する法律 *情報の発展に貢献した人物 *2進法の計算 *16進法の計算 *pythonでのプログラミング	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
理科・科学と人間生活	2	改訂 科学と人間生活（東京書籍）	選択必履修科目（半期）
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（4回）での評価		

指導目標
自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

評価の観点
【知識・技能】・自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。・観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現している。 【主体性】・自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	1編 生命の科学 1章 微生物とその利用 P14～P37	①身のまわりの微生物に興味・関心をもつ。 ②微生物の種類を理解する。 ③生態系における微生物のはたらきを理解する。 ④微生物の発見の歴史について理解する。 ⑤食品や医薬品と微生物の関わりについて理解する。	面接指導①② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	2章 ヒトの生命現象 P38～P63	①ヒトの生命現象に興味・関心をもつ。 ②視覚が生じるしくみと、眼の構造とはたらきについて理解する。 ③血糖濃度を調節するしくみについて理解する。 ④免疫について理解する。 ⑤DNAの構造と、転写・翻訳について理解する。	
第3回	2編 物質の科学 1章 衣料と食品 2章 材料とその再利用 P64～P113	①衣料や食品に含まれる物質に興味・関心をもつ。 ②繊維の種類と性質について理解する。 ③栄養素の種類について理解する。 ④脂質(油脂)の構造と性質について理解する。 ⑤炭水化物の種類と性質について理解する。 ⑥タンパク質の構造と性質について理解する。 ⑦身のまわりの金属やプラスチックに興味・関心をもつ。 ⑧リサイクルについて理解する。 ⑨金属の性質と再利用について理解する。 ⑩プラスチックの性質と再利用について理解する。	
第4回	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用 2章 熱の性質とその利用 P114～P155	①可視光線を含む電磁波の性質や利用に興味・関心をもつ。 ②光の性質について理解する。 ③光のスペクトルについて理解する。 ④色の見え方について理解する。 ⑤電磁波の性質と利用について理解する。 ⑥熱やエネルギーに興味・関心をもつ。 ⑦熱運動と温度について理解する。 ⑧熱量の保存について理解する。 ⑨熱の伝わり方について理解する。 ⑩エネルギーの変換について理解する。	面接指導③④ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	4編 宇宙や地球の科学 1章 自然景観と自然災害 P156～P181	①可視光線を含む電磁波の性質や利用に興味・関心をもつ。 ②光の性質について理解する。 ③光のスペクトルについて理解する。 ④色の見え方について理解する。 ⑤電磁波の性質と利用について理解する。	
第6回	2章 太陽と地球 P182～P203	①暦や潮汐、大気や海洋の循環に興味・関心をもつ。 ②太陽層と太陽風について理解する。 ③潮位が変動するしくみについて理解する。 ④太陽の活動について理解する。 ⑤大気と海洋の循環について理解する。 ⑥日本の四季と気象災害について理解する。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
理科・化学基礎	2	改訂新編化学基礎（東京書籍）	選択必履修科目（半期）
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（4回）での評価		

指導目標
1. 化学は、物質を探究し、創造する学問として、人類に貢献していることを理解する。 2. 物質の構成粒子とそれが構成する物質、および、物質が様々な変化をして他の物質をつくることを理解する。 3. 物質についての基本的な粒子概念、原理、法則などを、身近な物質や現象を通して理解し、習得させるとともに、生活に関連した科学的自然観や思考力を育成する。

評価の観点
【知識・技能】 ・自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。・観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】 ・自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現している。 【主体性】 ・自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	1編 物質の構成 1章 物質の成分と構成元素 P24～P44	①物質の成分と、分離の方法について理解し、身の回りの物質に興味・関心をもつ。 ②元素、単体、化合物、同素体について理解する。 ③成分元素の確認方法について理解する。 ④状態変化について、熱運動と関連づけて理解する。	面接指導①② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	2章 原子の構造と元素の周期表 P46～P57	①原子の構造や性質に興味・関心をもつ。 ②原子の構造について理解する。 ③原子の電子配置について理解する。 ④元素の周期表について理解する。	
第3回	3章 化学結合 P58～P89	①原子どうしの結合の種類と性質に興味・関心をもつ。 ②イオンの形成とイオン結合、イオン結晶について理解する。 ③分子と共有結合について理解する。 ④組成式、電子式、構造式について理解する。 ⑤分子の形や極性について理解する。 ⑥分子結晶や共有結合の結晶について理解する。 ⑦金属結合と金属結晶について理解する。	
第4回	2編 物質の変化 1章 物質質量と化学反応式 P96～P122	①原子の質量や個数の表し方や、化学反応を化学反応式で表す方法に興味・関心をもつ。 ②原子量や分子量、式量について理解する。 ③物質質量、質量、粒子の数、気体の体積の間の量的関係について理解する。 ④質量パーセント濃度とモル濃度について理解する。 ⑤化学反応式の表し方と、化学反応式が表す量的関係について理解する。	面接指導③④ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	2章 酸と塩基 P124～P152	①酸と塩基の性質に興味・関心をもつ。 ②酸と塩基の定義について理解する。 ③pHについて理解する。 ④中和反応と、塩の種類や塩の水溶液の性質について理解する。 ⑤中和滴定について理解する。	
第6回	3章 酸化還元反応 P154～P182	①電池や金属の腐食など、身のまわりの酸化還元反応に興味・関心をもつ。 ②酸化還元反応の捉え方と、酸化数について理解する。 ③おもな酸化剤と還元剤の反応について理解する。 ④金属のイオン化傾向と反応性について理解する。 ⑤酸化還元反応を応用した電池や金属の製錬について理解する。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
理科・生物基礎	2	改訂新編生物基礎（東京書籍）	選択必修科目（半期）
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（4回）での評価		

指導目標
生物や生物現象について観察・実験などを行い、自然に対する関心や探求心を高め、生物学的に探求する態度と能力を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。生物基礎の内容について問題演習を中心に行い、より高い知識の習得をめざす。

評価の観点
【知識・技能】・自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。・観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現している。 【主体性】・自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	1編 生物の特徴 P14～P41	①生物の多様性や共通性に興味・関心を持つ。 ②生物の体内で起こる化学反応に興味・関心を持つ。 ③生物の多様性と、生物に共通する性質について理解する。 ④細胞の特徴について理解する。 ⑤ATPの構造とはたらきについて理解する。 ⑥酵素のはたらきについて理解する。 ⑦呼吸と光合成について理解する。☑	面接指導①② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	2編 遺伝子とそのはたらき P46～P75	①遺伝や遺伝子のはたらきに興味・関心を持つ。 ②遺伝子について理解する。 ③DNAの構造と、複製のしくみについて理解する。 ④DNAとタンパク質の合成について理解する。 ⑤細胞分化と遺伝子の発現の関係について理解する。	
第3回	3編 ヒトの体の調節 1章 ヒトの体を調節するしくみ P80～P105	①ヒトの体を調節するしくみに興味・関心を持つ。 ②体内環境について理解する。 ③神経系の構成とはたらきについて理解する。 ④ホルモンのはたらきについて理解する。 ⑤血糖濃度を調節するしくみについて理解する。	
第4回	2章 免疫のはたらき P106～P123	①免疫のしくみと疾患とのかかわりに興味・関心を持つ。 ②免疫のしくみについて理解する。 ③二次応答と予防接種について理解する。 ④アレルギーや自己免疫疾患、AIDSについて理解する。	面接指導③④ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移 P128～P149	①身のまわりの植生やバイオームに興味・関心を持つ。 ②生態系における作用と環境形成作用について理解する。 ③森林の土壌の構造について理解する。 ④遷移について理解する。 ⑤世界と日本のバイオームについて理解する。☑	
第6回	2章 生態系と生物の多様性 P150～P171	①身のまわりの生態系に興味・関心を持つ。 ②食物網について理解する。 ③生態系における生物間の関係について理解する。 ④生態系のかく乱と復元力について理解する。 ⑤生態系を保全する必要性について理解する。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
理科・物理基礎	2	改訂新編物理基礎（東京書籍）	選択必修科目（半期）
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（4回）での評価		

指導目標
1. 基本的な概念や原理・法則を理解する。 2. 物理的な事物・事象についての観察，実験などを行い，物理学的に探求する能力と態度を育てる。 3. 科学的な見方や考え方を育成する。

評価の観点
【知識・技能】・自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。・観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し，観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，根拠を基に導き出した考えを表現している。 【主体性】・自然の事物・現象に主体的にかかわり，それらを科学的に探究しようとするとともに，探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	1編 物体の運動とエネルギー 1章 直線運動の世界 P10～P33	①運動の種類と性質に興味・関心をもつ。 ②変位と速度を用いた運動の表し方について理解し、具体的な場面においてそれらの値を求める。 ③合成速度と相対速度について理解し、具体的な場面においてそれらの値を求める。 ④加速度について理解し、具体的な場面においてその値を求める。 ⑤等加速度直線運動の性質を理解し、式やグラフで表す。また、具体的な場面においてそれらを活用する。 ⑥自由落下や鉛直投射された物体の運動について、その性質を理解し、式やグラフで表す。また、具体的な場面においてそれらを活用する。 ⑦水平投射された物体の運動について、その性質を理解する。	面接指導①② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	2章 力と運動の法則 P34～P73	①力の種類と性質、運動の法則に興味・関心をもつ。 ②力の性質について理解し、具体的な場面において力を合成したり分解したりする。 ③フックの法則について理解し、具体的な場面において公式を活用する。 ④運動の3法則について理解し、具体的な場面においてそれを活用する。 ⑤具体的な場面において、運動方程式を立てる。 ⑥摩擦力について理解し、具体的な場面において公式を活用する。 ⑦空気の抵抗力の性質について理解する。 ⑧水圧と浮力の性質について理解し、具体的な場面においてそれを活用する。	
第3回	3章 力学的エネルギー P74～P91	①仕事やエネルギーを使って物体の運動をとらえる考え方に興味・関心をもつ。 ②仕事と仕事率の定義を理解し、具体的な場面において仕事を求める。 ③仕事の原理について理解し、具体的な場面においてそれを活用する。 ④運動エネルギー、重力による位置エネルギー、弾性エネルギーについて理解し、具体的な場面において公式を活用する。 ⑤仕事と運動エネルギーの関係について理解し、具体的な場面において、それを活用する。 ⑥力学的エネルギー保存の法則と、それが成り立つ条件について理解し、具体的な場面においてそれらを活用する。 ⑦エネルギー保存の法則について理解し、具体的な場面においてそれを活用する。	
第4回	2編 さまざまな物理現象とエネルギー 1章 熱 P94～P109	①熱の移動が関係する現象に興味・関心をもつ。 ②温度と熱運動の関係を理解し、セルシウス温度と絶対温度の換算を行う。 ③熱平衡について理解し、具体的な場面においてそれを活用する。 ④熱と状態変化の関係について理解し、具体的な場面においてそれを活用する。 ⑤熱容量と比熱容量を用いて、熱量と温度変化の関係について理解し、具体的な場面において公式を活用する。 ⑥熱量の保存について理解し、具体的な場面において公式を活用する。 ⑦熱力学第1法則について理解し、具体的な場面において公式を活用する。 ⑧熱機関のはたらきについて理解し、具体的な場面において熱効率を求める。 ⑨可逆変化と不可逆変化について理解し、具体的な場面においてそれ	面接指導③④ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。

第5回	2 章 波 P110～P135	①身の回りの「波」に興味・関心をもつ。 ②波の性質と、その表し方を理解し、具体的な場面において公式を活用したりグラフを読み取ったりする。 ③縦波と横波の違いを理解し、縦波を横波のように表す方法を習得する。 ④波の独立性と重ね合わせの原理について理解し、具体的な場面において合成波の波形を作図する。 ⑤定在波の性質について理解し、具体的な場面においてそれを活用する。 ⑥自由端反射と固定端反射について理解し、具体的な場面において反射波を作図する。 ⑦音の3要素について理解し、具体的な場面においてそれを活用する。 ⑧うなりについて理解し、具体的な場面において公式を活用する。 ⑨弦と気柱の固有振動について理解し、具体的な場面において公式を
第6回	3 章 電気 4 章 エネルギーとその利用 P136～P167	①電気や磁気、さまざまなエネルギーや放射線に興味・関心をもつ。 ②電流の定義を理解し、具体的な場面において公式を活用する。 ③オームの法則と合成抵抗について理解し、具体的な場面において公式を活用する。 ④電力と電力量、ジュールの法則について理解し、具体的な場面において公式を活用する。 ⑤電気と磁気の相互作用について理解し、具体的な場面においてそれを活用する。 ⑥直流と交流について、それぞれの性質を理解する。 ⑦電磁波を分類し、それぞれの性質を知る。 ⑧核エネルギーとその利用について理解する。 ⑨人間生活とエネルギーとの関わりについて理解し、それに関する課題について考える。

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
理科・地学基礎	2		選択必履修科目（半期）
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（4回）での評価		

指導目標
日常生活や社会との関連を図りながら、宇宙の誕生から現在の地球に至るまでを時間的・空間的な広がりの中でとらえる。また、地球や地球を取り巻く環境に対して目的意識をもって観察・実験を行い、地学的に探究する能力と態度を育てる。そして、地学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、地学的な見方や考え方を養う。

評価の観点
【知識・技能】・自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。・観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現している。 【主体性】・自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	1編 私たちの大地 1章 大地とその動き 2章 地震 P12～P39	①地球の形や大きさについての科学史を理解し、地球の構造に関する科学に興味・関心をもつ。 ②地球内部の構造と動きを理解し、それに伴って生じる大地形や地震に興味・関心をもつ。 ③プレートの動きと大地形の関係について理解する。 ④地球内部の動きと地震の関係について理解し、地震が起こるしくみを理解する。 ⑤地震による災害と防災について理解する。	面接指導①② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	3章 火山活動 2編 私たちの空と海 1章地球大気の構造 P40～P73	①火山活動に興味・関心をもつ。 ②地球内部の動きと火山活動の関係について理解し、火山活動が起こるしくみを理解する。 ③火山による災害と防災について理解する。 ④火成岩の種類とでき方について理解する。 ⑤変成岩の種類とでき方について理解する。 ⑥地球の大気の大規模な構造に興味・関心をもつ。 ⑦地球大気の構造と、大気で起こる現象について理解する。	
第3回	2章 大気の特徴とその運動 3章 海水の特徴とその運動 4章 日本の天気と気象災害 P74～P99	①地球の大気と海洋の大規模な構造や運動に興味・関心をもつ。 ②地球の熱収支について理解する。 ③大気や海水の運動について理解する。 ④大気と海水の相互作用について理解する。 ⑤日本の天気の特徴と気象災害について理解する。	
第4回	3編 私たちの宇宙の誕生 1章 宇宙の構造と変化 2章 太陽系の誕生 P106～P129	①宇宙の誕生や太陽系の誕生に興味・関心をもつ。 ②宇宙が誕生した過程と宇宙の姿について理解する。 ③太陽系が誕生した過程について理解する。 ④太陽系の構成と特徴について理解する。 ⑤太陽や地球の特徴について理解する。	面接指導③④ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	4編 私たちの地球の歴史 1章 地層と化石の観察 2章 古生物の変遷と地球環境 P134～P165	①古生物や地球環境の変遷に興味・関心をもつ。 ②地層の形成過程と、地層からわかる情報について理解する。 ③古生物と地球環境の変遷について理解する。 ④人類の進化について理解する。	
第6回	5編 地球に生きる私たち 1章 日本の自然の恵みと防災 2章 地球環境と私たちの生活 3章 これからの地球環境 P170～P191	①日本の自然環境や自然の恵み、自然災害と防災に興味・関心をもつ。 ②日本の自然環境の特徴と自然の恵みについて理解する。 ③自然災害と防災について理解する。 ④地球環境の変動に興味・関心を持つ。 ⑤地球をシステムとみなす考え方について理解する。 ⑥自然環境の変動について理解する。 ⑦自然環境の変化と人間活動の関係について理解する。 ⑧気候変動問題に対する取り組みについて理解する。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
理科・物理	4	物理（東京書籍）	選択科目（前後期通年）
評価方法	添削指導（１２回）、試験（２回）、面接指導（８回）での評価		

指導目標
物理的な事象・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探求心を高め、物理的に探求する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。

評価の観点
【知識・技能】 ・自然の事象・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事象・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】 ・自然の事象・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現している。 【主体性】 ・自然の事象・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	1編 さまざまな運動 1章 平面内の運動 2章 剛体のつり合い P8～P42	① 物体の位置、変位、速度、加速度をベクトルで表すことを理解している。 ② 速度の合成の方法を理解し、ベクトルの和として求めることができる。 ③ 相対速度について理解し、ベクトルの差として求めることができる。 ④ 運動の3法則とは何か、具体的な場面も含めて理解している。 ⑤ 放物運動について、具体的な場面も含めて理解し、速度や時間などを求めることができる。 ⑥ 空気の抵抗力の性質を、終端速度との関係も含めて理解している。 ⑦ 力のモーメントについて理解し、具体的な場面についてそれを求めることができる。 ⑧ 剛体がつり合う条件を理解し、力や力のモーメントのつり合いの式を具体的な場面について正しく立式することができる。 ⑨ 重心について理解し、具体的な場面についてその位置を求めることができる。 ⑩ 物体が転倒しない条件を理解し、具体的な状況についてそれを求	面接指導①② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	3章 運動量 4章 円運動 P43～P84	① 力積と運動量とはどのようなものか式で理解し、式を活用することができる。 ② 力積と運動量の関係を理解し、具体的な場面でそれを活用することができる。 ③ 運動量保存の法則について、具体的な場面も含めて理解している。 ④ 反発係数とはどのようなものか式で理解し、式を活用することができる。 ⑤ 2物体の衝突や分裂において運動量保存や反発係数の式を正しく立式し、衝突後の速度などを求めることができる。 ⑥ 等速円運動の運動方程式を正しく立式し、具体的な場面において各物理量を求めることができる。 ⑦ 慣性力とはどのようなものかを理解し、具体的な場面でその大きさを求めることができる。 ⑧ 慣性系と非慣性系の違いを理解し、具体的な場面について、慣性	
第3回	5章 単振動 6章 万有引力 P85～P120	① 単振動とはどのような運動かを式で理解し、具体的な場面において各物理量を求めることができる。 ② 復元力とはどのような力か式で理解し、式を活用することができる。 ③ 単振動の周期について、角振動数と質量との関係を式で理解し、具体的な場面において周期を求めることができる。 ④ ばね振り子の周期について、ばね定数と質量との関係を式で理解し、具体的な場面において周期を求めることができる。 ⑤ 単振り子の周期について、振り子の長さと重力加速度の大きさとの関係を式で理解し、具体的な場面において周期を求めることができる。また、振り子の等時性について理解している。 ⑥ 単振動のエネルギーについて式で理解し、式を活用することができる。 ⑦ ケプラーの法則を理解し、具体的な場面において活用することができる。 ⑧ 万有引力の法則や、万有引力による位置エネルギーを式で理解	

第4回	7章 気体分子の運動 P121～P158	① ボイルの法則、シャルルの法則、ボイルシャルルの法則について式で理解し、具体的な場面で活用することができる。 ② 理想気体とはどのような気体かを理解している。 ③ 理想気体の状態方程式を用いて、具体的な場面で各物理量を求めることができる。 ④ 気体の圧力や温度を気体分子の運動で説明するために、適切な式を導くことができる。 ⑤ 気体の状態方程式と熱力学第1法則の式を、等温変化、断熱変化、定積変化、定圧変化のそれぞれに適用して、気体の状態変化について考えることができる。 ⑥ 気体の温度と熱の関係を、モル熱容量を用いて考えることができる。 ⑦ 熱力学第2法則のさまざまな表現について理解し、具体的な場面で活用することができる。	面接指導③④ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	2編 波 1章 波の伝わり方 2章 音 P159～P188	① 正弦波を式で表すことができ、具体的な場面でその式を活用することができる。 ② 波の回折とはどのような現象かを理解し、身の回りの具体的な場面と関連づけて考えることができる。 ③ 反射の法則を式で理解し、身の回りの具体的な場面と関連づけて考えることができる。 ④ 屈折の法則を式で理解し、具体的な場面で各物理量を求めることができる。 ⑤ ホイヘンスの原理について理解し、これに基づいて反射や屈折を説明することができる。 ⑥ 波の干渉条件について式で理解し、具体的な場面で式を活用することができる。 ⑦ 音にも反射・屈折・回折・干渉といった波の性質が見られることを理解し、身の回りの具体的な場面と関連づけて考えることができる。 ⑧ ドップラー効果について式で理解し、具体的な場面で式を	
第6回	3章 光 P189～P230	① ものの色が見えるしくみを理解している。 ② 光の速さの測定についての主な科学史を理解している。特に、フィゾーの実験について式で理解している。 ③ 光の反射、屈折、全反射について式で理解し、身の回りの具体的な場面と関連づけて考えることができる。 ④ 光の分散、偏光、光の散乱について理解し、身の回りの具体的な場面と関連づけて考えることができる。 ⑤ ヤングの実験について式で理解し、具体的な場面で式を活用することができる。 ⑥ 回折格子、薄膜、空気層による光の干渉条件について式で理解し、具体的な場面で式を活用することができる。 ⑦ レンズや鏡に入射した光の進み方を理解している。 ⑧ レンズや鏡がつくる像について式で理解し、具体的な場面にお	
第7回	3編 電気と磁気 1章 電場と電位 P231～P274	① 物体が帯電するしくみと電荷保存の法則を理解し、具体的な場面で活用することができる。 ② クーロンの法則を式で理解し、具体的な場面で式を活用することができる。 ③ 点電荷が電場から受ける力について式で理解し、具体的な場面で式を活用することができる。 ④ 点電荷がつくる電場について式で理解し、具体的な場面で式を活用することができる。 ⑤ 電場の重ね合わせについて理解し、電場の合成をすることができる。 ⑥ 電気力線を正しく描くことができる。 ⑦ 電位の定義を式で理解し、具体的な場面で式を活用することができる。 ⑧ 点電荷のまわりの電位について式で理解し、具体的な場面で式を活用することができる。 ⑨ 導体と不導体のそれぞれの静電誘導について理解し、具体的な場面で知識を活用することができる。 ⑩ コンデンサーのはたらきについて式で理解し、具体的な場面にお	
第8回	2章 電流 P275～302	① 導線の電気抵抗について、材質、温度、長さ、断面積との関係を式で理解し、具体的な場面で式を活用することができる。 ② 非直線抵抗の性質を理解し、具体的な場面で式を活用することができる。 ③ 電流を自由電子の運動として理解し、ジュール熱が発生するしくみを理解している。 ④ キルヒホッフの法則を式で理解し、具体的な場面で式を活用することができる。 ⑤ 電池の起電力と内部抵抗、端子電圧の関係について式で理解し、具体的な場面で式を活用することができる。 ⑥ 電流計と電圧計の内部抵抗や、分流器、倍率器のはたらきについて理解し、具体的な場面で知識を活用することができる。 ⑦ ホイートストンブリッジや電位差計などを用いて、抵抗値や起電力を正しく求めることができる。 ⑧ コンデンサーを含む回路の過渡現象について理解し、具体的な場面で抵抗を流れる電流やコンデンサーの電気量を正しく求めることができる。 ⑨ 半導体の構造や性質について理解し、具体的な場面で知識	面接指導⑤⑥ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。

第9回	3章 電流と磁場 P303～326	① 磁極や磁力の性質について理解している。 ② 磁場の向きと強さの定義を理解し、具体的な場面においてそれを活用することができる。 ③ 磁極が磁場から受ける力について式で理解し、具体的な場面において式を活用することができる。 ④ 磁場の重ね合わせの原理を式で理解し、具体的な場面において式を活用することができる。 ⑤ 磁力線の描き方を理解し、具体的な場面においてそれを活用することができる。 ⑥ 磁性の起源について理解し、具体的な場面において知識を活用することができる。 ⑦ 電流がつくる磁場について式で理解し、具体的な場面において式を活用することができる。 ⑧ 電流が磁場から受ける力について式で理解し、具体的な場面において式を活用することができる。 ⑨ ローレンツ力について式で理解し、サイクロトロン運動やホール
第10回	4章 電磁誘導と電磁波 P327～372	① 電磁誘導の法則を式で理解し、具体的な場面においてそれを活用することができる。 ② 電磁誘導をローレンツ力や誘導電場を用いて説明することができる。 ③ 電磁誘導でもエメルギー保存の法則が成り立つことを式で理解し、具体的な場面において式を活用することができる。 ④ 渦電流が生じるしくみと、その利用について理解している。 ⑤ 自己誘導と相互誘導について式で理解し、具体的な場面において式を活用することができる。 ⑥ 交流発電機の原理を理解し、交流電圧を式で表し、具体的な場面において式を活用することができる。 ⑦ 交流電圧と交流電流の実効値について式で理解し、具体的な場面において式を活用することができる。 ⑧ 抵抗、コイル、コンデンサーをそれぞれ接続した交流回路において、それぞれの素子を通る電流や消費電力について式で理解し、具体的な場面において式を活用することができる。 ⑨ RLC直列回路について、力率や共振周波数を式で理解し、具体的な場面において式を活用することができる。また、電気振動について式で理解し、具体的な場面において式を活用することができる。
第11回	4編 原子 1章 電子と光 P373～394	① 陰極線の正体が電子であることが明らかになった過程について理解している。特に、トムソンとミリカンの実験について、式で理解している。 ② 光子のエネルギーと運動量について式で理解し、具体的な場面において式を活用することができる。 ③ 光電効果の実験結果を、光子によって説明することができる。 ④ 光の振動数と仕事関数から、限界振動数を求めることができる。 ⑤ X線の性質を、特性X線と連続X線のそれぞれについて理解し、具体的な場面において知識を活用することができる。 ⑥ X線管によるX線の発生において、電子の加速電圧からX線の最短波長を求めることができる。 ⑦ X線が波動性と粒子性の二重性をもつことを、ラウエ斑点やブラッグの条件、コンプトン効果と関連づけて理解している。 ⑧ 物質波の波長と運動量の関係を式で理解し、具体的な場面において式を活用することができる。 ⑨ 量子力学は波動性と粒子性の二重性を扱う論理形式であり、
第12回	2章 原子と原子核 終章 P395～457	① いくつかの原子模型が提案され、それらが実験によって検証されながら、原子の構造が次第に明らかになってきた過程について理解している。 ② ボーアの仮説における量子条件と振動数条件について式で理解し、具体的な場面において式を活用することができる。 ③ ボーアの仮説に従って、水素原子の軌道半径、エネルギー準位、スペクトルについて、式を立てて説明することができる。 ④ 原子番号、質量数、原子量について理解し、具体的な場面においてそれらの値を求めることができる。 ⑤ 放射性崩壊について理解し、具体的な場面において崩壊を式で表したり、半減期を求めたりすることができる。 ⑥ 放射線の性質とその利用について、具体的な例を含めて理解している。 ⑦ 核反応について理解し、具体的な例について核反応式を書くことができる。 ⑧ エネルギーと質量の等価性や質量欠損を式で理解し、具体的な場面において式を活用することができる。 ⑨ 素粒子の分類や反応について理解している。 ⑩ 4つの基本的な力と、それらを媒介する粒子について理解している。

面接指導⑦⑧

単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
理科・化学	4	化学vol1、2（東京書籍）	選択科目（前後期通年）
評価方法	添削指導（１２回）、試験（２回）、面接指導（８回）での評価		

指導目標
化学的な事物・現象についての観察・実験や課題研究などを行い、自然に対する関心や探求心を高め、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則の理解を深め、化学的な自然観を育成する。

評価の観点
【知識・技能】・自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。・観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現している。 【主体性】・自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	1編 物質の状態 1章 物質の状態 2章 気体の性質 P9～P43	① 状態変化に伴う熱の出入りを理解し、具体的な場面について融解熱を求めることができる。 ② セルシウス温度と絶対温度の換算ができる。 ③ 物質の融点・沸点と化学結合・分子間力の関係を理解している。 ④ 圧力の単位の換算ができる。 ⑤ 気液平衡について、具体的な場面も含めて理解している。 ⑥ 沸点における蒸気圧と大気圧の関係について、具体的な場面も含めて理解している。また、蒸気圧曲線から物質の沸点を読み取ることができる。 ⑦ 気体の法則を式で理解し、具体的な場面で適切な公式を判断し、それを活用することができる。 ⑧ 理想気体の定数を理解している	面接指導①② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	3章 溶液の性質 4章 固体の構造 P44～P88	① 溶解のしくみについて、具体的な場面も含めて理解している。 ② 固体や気体の溶解度について理解し、具体的な場面において、溶解度や溶質の質量などを求めることができる。 ③ 濃度の単位の換算ができる。 ④ 蒸気圧降下と沸点上昇の関係、および凝固点降下の原理を理解し、具体的な場面において、沸点上昇や凝固点降下の大きさを求めることができる。 ⑤ 浸透圧について、ファントホッフの法則を式で理解し、具体的な場面において式を活用することができる。 ⑥ コロイドの種類やコロイド溶液の性質を理解している。 ⑦ 4種類の結晶について、それぞれの構造や特徴を理解している。また、具体的な場面において、原子半径や密度などを正しく求めること	
第3回	2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光 P89～P111	① 発熱反応と吸熱反応の反応エンタルピーについて、エンタルピー変化を表す図も含めて理解している。 ② 化学反応式に反応エンタルピーを書き加えた式の書き方を理解し、具体的な反応について、それを正しく書くことができる。 ③ 状態変化に伴うエンタルピー変化や、さまざまな反応エンタルピーについて理解し、具体的な反応について、化学反応式に反応エンタルピーを書き加えた式を書くことができる。 ④ 反応エンタルピーと生成エンタルピーの関係を理解し、具体的な反応について、反応に関係する各物質の生成エンタルピーから、その反応の反応エンタルピーを求めることができる。 ⑤ 温度と熱量の関係について式で理解し、具体的な場面において式を活用することができる。 ⑥ 反応が進む方向と、エンタルピー、エントロピーの関係を理解している。 ⑦ ヘスの法則について理解し、それを応用して、エンタルピー変化を表す図から未知の反応エンタルピーを求めることができる。 ⑧ 反応エンタルピーと結合エンタルピーの関係を理解し、具体的な反応について、反応に関係する各物質の結合エンタルピーから、その反応の反応エンタルピーを求めることができる。 ⑨ 化学発光や光合成を例として、化学反応と光エネルギーの關係に	
第4回	2章 電池と電気分解 P112～P132	① 電池の原理を理解している。 ② 標準電極電位を用いて、電池の起電力を求めることができる。 ③ 代表的な実用電池の構造を理解し、電極で起こる反応をイオン反応式で表すことができる。 ④ 電気分解のしくみを理解し、具体的な反応について、両極で起こる反応をイオン反応式で表すことができる。 ⑤ ある大きさの電流をある時間流したときの電気量を求めることができる。また、ファラデー定数を用いて、電気量を電子の物質量に換算することができる。 ⑥ ファラデーの電気分解の法則を理解し、具体的な反応について、それを適用して考えることができる。	面接指導③④ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。

第5回	3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ 2章 化学平衡 1節 可逆反応と化学平衡 P133～P161	① 速い反応と遅い反応について、具体的な例を含めて理解している。 ② 反応速度の表し方を式で理解し、具体的な反応について、反応速度や物質の濃度を求めることができる。 ③ 反応速度と反応物の濃度の関係を反応速度式で表すことができる。 ④ 反応速度に対して濃度、温度、触媒が及ぼす影響について、その理由や具体的な例を含めて理解している。 ⑤ 固体の表面積が反応速度に影響するしくみや、光化学反応について理解している。 ⑥ 均一触媒と不均一触媒の違いを理解している。 ⑦ 活性化エネルギーについて、温度や触媒との関係も含めて理解している。 ⑧ 化学平衡とはどのような状態かを理解している。 ⑨ 化学平衡の法則を式で理解し、具体的な反応において、式を活用することができる。	
第6回	2章 化学平衡 2節 平衡の移動 3章 水溶液中の化学平衡 P162～P194	① ルシャトリエの原理を理解し、具体的な反応についてそれを適用することができる。 ② ハーバー・ボッシュ法について、ルシャトリエの原理との関連も含めて理解している。 ③ 酸や塩基の電離定数と電離度の関係を式で理解し、具体的な例について、式を活用することができる。 ④ 水のイオン積とpHについて式で理解し、具体的な例においてpHを求めることができる。 ⑤ 塩の水溶液の性質について、具体的な例も含めて理解している。 ⑥ 塩の加水分解と、弱酸・弱塩基の遊離について、具体的な例も含めて理解している。 ⑦ 緩衝液が緩衝作用を示すしくみについて、具体的な例も含めて理解している。 ⑧ 溶解度積について理解し、具体的な例において、溶解度積を用いて沈殿が生成するかどうかを判断することができる。	
第7回	4編 無機物質 1章 周期表と元素 2章 非金属元素の単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物 P7～P65	① 水素、酸素、ハロゲン、硫黄、窒素、炭素、ケイ素の単体および化合物の性質を理解し、反応を化学反応式で表すことができる。 ② 貴ガスの性質を理解している。 ③ 硫酸、アンモニア、硝酸の工業的製法を理解している。 ④ アルカリ金属、アルカリ土類金属、アルミニウムの単体および化合物の性質を理解し、反応を化学反応式で表すことができる。 ⑤ 炭酸ナトリウムの工業的製法を理解し、反応を化学反応式で表すことができる。 ⑥ ナトリウムおよびカルシウムの反応について、体系的に理解している。 ⑦ 両性金属の性質と反応を理解している。	面接指導⑤⑥
第8回	4章 遷移元素の単体と化合物 5章 金属イオンの分離と確認 P66～P100	① 遷移元素の性質と特徴や、典型元素との違いを理解している。 ② 錯イオンが生成するしくみと、錯イオンの命名法を理解している。 ③ 鉄、銅、銀、亜鉛、クロムの単体、化合物およびイオンの性質を理解し、反応を化学反応式で表すことができる。	
第9回	5編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素 P101～P139	① 有機化合物の性質・特徴や、無機化合物との違いを理解している。 ② 炭化水素の分類を理解し、具体的な例において知識を活用することができる。 ③ 官能基による有機化合物の分類を理解している。 ④ 有機化合物を分子式、構造式、簡略化した構造式、示性式で表すことができる。 ⑤ 異性体の種類を理解し、具体的な例において知識を活用することができる。 ⑥ 構造式を決定する手順を理解し、具体的な例において、組成式、分子式、構造式を決定することができる。 ⑦ アルカンの構造、性質、反応を理解し、具体的な例において知識を活用することができる。 ⑧ アルケンおよびアルキンの構造、性質、反応を理解し、具体的な例において知識を活用することができる。	
第10回	3章 アルコールと関連化合物 P140～P171	① アルコールの構造、分類、性質、反応について、具体的な化合物の例を含めて理解している。 ② エーテルの構造、性質、反応について、具体的な化合物の例を含めて理解している。 ③ アルデヒドとケトンの構造、性質、反応について、具体的な化合物の例を含めて理解している。 ④ ヨードホルム反応を示す化合物を判別することができる。 ⑤ カルボン酸の構造、分類、性質、反応について、具体的な化合物の例を含めて理解している。 ⑥ 鏡像異性体の性質について理解している。 ⑦ エステルの構造、性質、反応について、具体的な化合物の例を含めて理解している。 ⑧ 油脂の構造、分類、性質、反応について、具体的な化合物の例を含めて理解している。また、けん化価やヨウ素価を求めることができる。 ⑨ セッケンの構造、性質、反応について理解している。また、セッ	面接指導⑦⑧

面接指導⑤⑥

単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。

面接指導⑦⑧

単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。

第11回	4章 芳香族化合物 6編 高分子化合物 1章 高分子化合物とは何か P172～P215	① 芳香族炭化水素の構造と反応について、具体的な化合物の例を含めて理解している。 ② フェノール類の構造、性質、反応について、具体的な化合物の例を含めて理解している。また、アルコールとの類似点と相違点を理解している。 ③ 芳香族カルボン酸の構造、性質、反応について、具体的な化合物の例を含めて理解している。 ④ 芳香族アミンの構造、分類、性質、反応について、具体的な化合物の例を含めて理解している。 ⑤ ジアゾ化やジアソカップリングについて、具体的な化合物の例を含めて理解している。 ⑥ 中和や酸・塩基の強弱などを利用して、芳香族化合物を分離することができる。 ⑦ 染料、医薬品、洗浄剤、食品に含まれる有機化合物について、それらの性質や人間生活との関わりを、具体的な化合物の例を含めて理解している。 ⑧ 高分子化合物の分類と、それぞれの特徴を理解している。 ⑨ 合成高分子化合物をつくる重合反応の種類を理解している。ま
第12回	2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物 7編 化学が果たす役割 1章 化学的性質の利用と工業的製法 2章 未来を創る化学 P216～P288	① 糖類の分類、構造、反応について、具体的な化合物の例を含めて理解している。 ② セルロースを利用した再生繊維や半合成繊維について、製造方法と性質を理解している。 ③ アミノ酸の分類、構造、性質、反応について、具体的な化合物の例を含めて理解している。 ④ タンパク質の構造、分類、性質、反応について、具体的な化合物の例を含めて理解している。 ⑤ 酵素の性質について、具体的な例を含めて理解している。 ⑥ 合成繊維や合成樹脂の種類、合成反応、性質について、具体的な例を含めて理解している。 ⑦ イオン交換樹脂のはたらきを理解し、具体的な例について、水素イオンや水酸化物イオンの濃度などを求めることができる。 ⑧ 天然ゴムと合成ゴムの構造や性質、合成ゴムの合成反応を理解している。また、ゴム弾性が生じるしくみや、加硫によって弾性が増すしくみを理解している。 ⑨ 物質の性質の利用や、物質の製法を通して、現在や未来の社会を

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
理科・生物	4	生物（東京書籍）	選択科目（前後期通年）
評価方法	添削指導（１２回）、試験（２回）、面接指導（８回）での評価		

指導目標
生物や生物現象についての観察、実験や課題研究などを行い、自然に対する関心や探求心を高め、生物学的に探求する態度と能力を育てるとともに基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

評価の観点
【知識・技能】・自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。・観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 【思考・判断力・表現力】・自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現している。 【主体性】・自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	1編 生物の進化 1章 生命の起源と細胞の進化 2章 遺伝子の変化と進化のしくみ 1節 P8～P29	①生物の共通性と多様性をつなぐ進化について理解している。 ②生物の共通性と多様性について理解し、活用することができる。 ③生命の誕生について具体的な場面も含めて理解し、活用することができる。 ④地球における酸素濃度の上昇や真核生物の誕生について理解し、活用することができる。 ⑤突然変異について理解し、活用することができる。	面接指導①② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	2章 遺伝子の変化と進化のしくみ 2節～5節 P30～P57	①染色体と遺伝子座について理解している。 ②遺伝の法則について理解し、活用することができる。 ③減数分裂について理解し、活用することができる。 ④進化の定義について具体的な場面も含めて理解している。 ⑤自然選択による進化について具体的な場面も含めて理解している。 ⑥適応進化について理解し、活用することができる。 ⑦遺伝子レベルでみる進化について理解し、活用することができる。 ⑧遺伝子プールと遺伝子頻度について具体的な場面も含めて理解している。 ⑨種分化について理解し、活用することができる。	
第3回	3章 生物の系統と進化 P58～P85	①脊椎動物のグループについて理解している。 ②DNAの塩基配列に基づく系統樹について具体的な場面も含めて理解している。 ③生物の系統の探究について具体的な場面も含めて理解している。 ④生物に分類について理解し、活用することができる。 ⑤ドメインについて理解している。 ⑥霊長類について理解し、活用することができる。 ⑦類人猿とヒトの違いについて具体的な場面も含めて理解している。 ⑧人類の出現と変遷について理解し、活用することができる。	
第4回	2編 生命現象と物質 1章 細胞と物質 P86～P127	①細胞を構成する成分について理解している。 ②生体膜のはたらきについて理解している。 ③細胞の構造について具体的な場面も含めて理解している。 ④タンパク質の構造について具体的な場面も含めて理解している。 ⑤酵素としてはたらくタンパク質について具体的な場面も含めて理解している。 ⑥生命現象とタンパク質について理解し、活用することができる。	面接指導③④ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第5回	2章 代謝とエネルギー P128～P159	①代謝とエネルギーについて理解している。 ②呼吸について具体的な場面も含めて理解している。 ③発酵について具体的な場面も含めて理解している。 ④光合成について理解し、活用することができる。	
第6回	3編 遺伝情報の発現と発生 1章 遺伝情報とその発現 P160～P189	①DNAの構造について具体的な場面も含めて理解している。 ②DNAの複製について具体的な場面も含めて理解している。 ③遺伝情報の流れについて具体的な場面も含めて理解している。 ④RNAと転写について具体的な場面も含めて理解している。 ⑤翻訳のしくみについて理解し、活用することができる。 ⑥遺伝情報の変化について理解し、活用することができる。	
第7回	2章 発生と遺伝子発現 P190～P235	①原核生物の遺伝子発現の調節について具体的な場面も含めて理解している。 ②真核生物の遺伝子発現の調節について理解している。 ③選択的遺伝子発現と細胞分化について理解している。 ④動物の発生についてについて具体的な場面も含めて理解している。 ⑤胚の細胞の発生運命と遺伝子発現について具体的な場面も含めて理解している。 ⑥発生現象と遺伝子発現の調節について具体的な場面も含めて理解している。 ⑦動物の形と調節遺伝子の発現について理解し、活用することができ	面接指導⑤⑥ 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。

第8回	3章 遺伝子を扱う技術 P236～P261	①遺伝子を増幅する技術について具体的な場面も含めて理解している。 ☒ ②塩基配列を解読する技術について具体的な場面も含めて理解している。 ③遺伝子組換え技術の利用について具体的な場面も含めて理解している。 ④遺伝子や細胞を扱う技術の課題について理解し、活用することができる。
第9回	4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応 2章 動物の行動 P262～P317	①刺激の受容から反応への流れについて理解している。 ②ニューロンの興奮について具体的な場面も含めて理解している。 ☒ ③興奮の伝導について具体的な場面も含めて理解している。 ④興奮の伝達について具体的な場面も含めて理解している。 ⑤刺激の受容と感覚について具体的な場面も含めて理解している。 ⑥中枢神経系での情報処理について具体的な場面も含めて理解している。 ⑦効果器について具体的な場面も含めて理解している。 ⑧動物の行動について理解し、活用することができる。
第10回	3章 植物の環境応答 P318～P367	①被子植物の生殖と発生について具体的な場面も含めて理解している。 ②植物の一生の出来事と環境の影響について理解している。 ③植物ホルモンと光受容体について具体的な場面も含めて理解している。 ④環境要因による発芽の調節について具体的な場面も含めて理解している。 ⑤茎や根の成長と環境要因の影響について具体的な場面も含めて理解している。 ⑥気孔の開閉の調節と環境要因の影響について具体的な場面も含めて理解している。 ⑦花芽形成と環境要因の影響について理解している。 ⑧果実の形成と成熟のしくみについて表現したりすることができる。 ⑨器官の老化と脱落のしくみについて理解し、活用することができる。
第11回	5編 生態と環境 1章 個体群と生物群集 P368～P405	①個体群と環境について具体的な場面も含めて理解している。 ②個体群の構造と成長について具体的な場面も含めて理解している。 ③個体間の相互作用について具体的な場面も含めて理解している。 ④種間の相互作用について具体的な場面も含めて理解している。 ⑤生態系からみた生物について理解し、活用することができる。 ⑥生物群集の成り立ちと多種の共存について理解し、活用することができる。
第12回	2章 生態系の物質生産と物質循環 3章 生態系と人間生活 P406～P445	①食物網と物質生産について具体的な場面も含めて理解している。 ②生態系の物質収支と生態ピラミッドについて具体的な場面も含めて理解している。 ③生物多様性について具体的な場面も含めて理解している。 ④人間社会の変化と生態系について具体的な場面も含めて理解している。 ⑤生態系の復元について理解し、活用することができる。 ⑥人間は自然とどう付き合ったらよいかについて理解し、活用することができる。

面接指導⑦⑧

単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
国語・現代の国語	2	新現代の国語（東京書籍）	必履修科目（半期）
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（1回）での評価		

指導目標
国語全般に関する知識を積極的に獲得し、豊かな情操を身につけ、その中で伝え合う力、思考力、読解力を育む。さらに大学進学に向けての基礎力を養う。

評価の観点
【知識・技能】 ・言葉の特徴や使い方に関すること ・情報の扱い方に関すること ・我が国の言語文化に関すること 【思考・判断力・表現力】 ・話すこと・聞くこと ・書くこと ・読むこと 【主体性】 生徒が自らの意思で学びを深め、言葉を通して他者と関わり、自身の考えを発展させる姿勢

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	こそそめスープ ルリボシカミキリの青 P6 ～P17	○こそそめスープ 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ○ルリボシカミキリの青 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解して	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	未来をつくる想像力 水の東西 P24～P38	○未来をつくる想像力 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 ○水の東西 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・主題と論拠など情報と情報との関係について理解している。	

第3回	スキマが育む都市の緑と生命のつながり 無彩の色 ハサミ P68～P92	○スキマが育む都市の緑と生命のつながり ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ○無彩の色 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ○ハサミ ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。
第4回	鍋洗いの日々 森で染める人 動きを引き出す言葉の力 P100～P124	○鍋洗いの日々 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ○森で染める人 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ○動きを引き出す言葉の力 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。

第5回	美しさの発見 りんごのほっぺ 人生という旅の豊かな人間 関係 P152～P176	○美しさの発見 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ○りんごのほっぺ ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ○人生という旅の豊かな人間関係 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。
第6回	天動説はなぜ「正しかった」か？ 真の自立とは P184～P201	○天動説はなぜ「正しかった」か？ ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・推論の仕方を理解し使っている。 ○真の自立とは ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
国語・言語文化	2	新編言語文化（東京書籍）	必修科目（半期）
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（1回）での評価		

指導目標
国語全般に関する知識を積極的に獲得し、豊かな情操を身につけ、その中で伝え合う力、思考力、読解力を育む。さらに大学進学に向けての基礎力を養う。

評価の観点
【知識・技能】 ・言葉の特徴や使い方に関すること ・我が国の言語文化に関すること 【思考・判断力・表現力】 ・書くこと ・読むこと 【主体性】 生徒が自らの意思で学びを深め、言葉を通して他者と関わり、自身の考えを発展させる姿勢

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	さくらさくらさくら 心の自由 とんかつ オレンジの実る庭 P10～ P48	◇さくらさくらさくら ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ◇心の自由 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ◇とんかつ ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ◇オレンジの実る庭 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	柳あおめる【短歌】 雪の深さを【俳句】 冬が来た P54～P69	◇柳あおめる【短歌】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇雪の深さを【俳句】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇冬が来た ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	

第3回	羅生門 夢十夜 P76～P120	◇羅生門 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ◇夢十夜 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につ
第4回	徒然草 枕草子 折々のうた P146～P171	◇徒然草 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 ◇枕草子 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇折々のうた ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。
第5回	伊勢物語 平家物語 奥の細道 P178～P201	◇伊勢物語 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 ◇平家物語 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ◇奥の細道 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につ

第6回	訓読の基本 故事成語 絶句と律詩 論語 史話 P218～P261	◇訓読の基本 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 ◇故事成語 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ◇絶句と律詩 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。
-----	---	--

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
国語・論理国語	4	新編論理国語（東京書籍）	選択科目 前・後期通年履修
評価方法	添削指導（１２回）、試験（２回）、面接指導（２回）での評価		

指導目標
社会において必要となる、文章を論理的に書いたり批判的に読んだりする資質・能力を養う。

評価の観点
【知識・技能】 ・言葉の特徴や使い方に関すること ・情報の扱いに関すること ・我が国の言語文化に関すること 【思考・判断力・表現力】 ・書くこと ・読むこと 【主体性】 生徒が自らの意思で学びを深め、言葉を通して他者と関わり、自身の考えを発展させる姿勢

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	・対話とは何か ・世界をつくり替えるために P8～P24	◇対話とは何か ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇世界をつくり替えるために ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	・少女たちの「ひろしま」 ・「ふしぎ」ということ P26～P54	◇少女たちの「ひろしま」 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇「ふしぎ」ということ ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	
第3回	・学ぶことと人間の知恵 ・ラップトップ抱えた「石器人」 P56～P74	◇学ぶことと人間の知恵 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇ラップトップ抱えた「石器人」 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	

第4回	・ 思考の肺活量 ・ 安心について P76～P100	◇思考の肺活量 ・ 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇安心について ・ 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。
第5回	・ 弱肉強食は自然の摂理か ・ 複数の「わたし」 P102～P122	◇弱肉強食は自然の摂理か ・ 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇複数の「わたし」 ・ 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・ 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。
第6回	・ はじめに「言葉」がある ・ 楽に働くこと、楽しく働くこと P124～P166	◇はじめに「言葉」がある ・ 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇楽に働くこと、楽しく働くこと ・ 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。
第7回	・ 最初のペンギン ・ 豊かさと生物多様性 P168～P184	◇最初のペンギン ・ 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇豊かさと生物多様性 ・ 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。
第8回	・ 物語の外から ・ カフェの開店準備 P186～P208	◇物語の外から ・ 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇カフェの開店準備 ・ 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。

面接指導②

単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。

第9回	・鏡としてのアンドロイド ・ロボットが隣人になるとき P210～P230	◇鏡としてのアンドロイド ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇ロボットが隣人になるとき ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。
第10回	・言葉は「ものの名前」ではない ・科学的「発見」とは P232～P260	◇言葉は「ものの名前」ではない ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇科学的「発見」とは ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。
第11回	・知識における作者性と構造化性 ・もう一つの知性 P262～P280	◇知識における作者性と構造化性 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇もう一つの知性 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。
第12回	・ホンモノのおカネの作り方 ・未来のありか P282～P301	◇ホンモノのおカネの作り方 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ◇未来のありか ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
国語・文学国語	4	文学国語 （東京書籍）	選択科目 前・後期通年履修
評価方法	添削指導（１２回）、試験（２回）、面接指導（２回）での評価		

指導目標
古文、漢文の素養を豊かに発展させるために、古典文学史を通して、代表的文学作品に目を向け、読解力を身につける。さらに、古文、漢文に対する興味を深める。

評価の観点
【知識・技能】 ・言葉の特徴や使い方に関すること ・我が国の言語文化に関すること 【思考・判断力・表現力】 ・書くこと ・読むこと 【主体性】 生徒が自らの意思で学びを深め、言葉を通して他者と関わり、自身の考えを発展させる姿勢

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	・光の窓 ・雨月物語 ・山月記 P8～P33	◇光の窓 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇雨月物語 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ◇山月記 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体的特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	・窓 ・言葉を生きる ・詩と感情生活 P34～P56	◇窓 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ◇言葉を生きる ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇詩と感情生活 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	
第3回	・山椒魚・沖縄の手記から P58～P92	◇山椒魚 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体的特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇沖縄の手記から ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	

第4回	・ 鉄 ・ 竹 ・ 氷訣の朝・硝子の駒 ・ モードの変遷 P94～P114	◇鉄 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇竹 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇氷訣の朝 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇硝子の駒 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇モードの変 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。
第5回	・ ころこ P116～P148	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体的特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。
第6回	・ 文学のふるさと ・ 文学の未来・ 鞆 ・ あの朝 P150～P188	◇文学のふるさと ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ◇文学の未来 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇鞆 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇あの朝 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。

第7回	・国語から旅立って ・書かれた風景の中へ ・檸檬 P190～P216	◇国語から旅立って ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇書かれた風景の中へ ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ◇檸檬 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	面接指導②
第8回	・コンビニの母 ・夏の姿・帰途 ・小諸なる古城のほとり ・金剛の露 ・平気 P217～P246	◇コンビニの母 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ◇夏の姿 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇帰途 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇小諸なる古城のほとり ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇金剛の露 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇平気 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	
第9回	・空っぽの瓶 ・クレールという女 ・父と暮せば P248～P290	◇空っぽの瓶 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇クレールという女 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ◇父と暮せば ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	

面接指導②

単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。

第10回	・舞姫 P292～P328	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。
第11回	・演技する「私」 ・映画の可能性のために P330～P346	◇演技する「私」 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ◇映画の可能性のために ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。
第12回	・葉桜と魔笛 ・蠅 P348～P374	◇葉桜と魔笛 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ◇蠅 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
国語・古典探究	4	新編古典探究（東京書籍）	選択科目 前・後期通年履修
評価方法	添削指導（１２回）、試験（２回）、面接指導（２回）での評価		

指導目標
古文、漢文の素養を豊かに発展させるために、古典文学史を通して、代表的文学作品に目を向け、読解力を身につける。さらに、古文、漢文に対する興味を深める。

評価の観点
【知識・技能】 ・言葉の特徴や使い方に関すること ・我が国の言語文化に関すること 【思考・判断力・表現力】 ・読むこと 【主体性】 生徒が自らの意思で学びを深め、言葉を通して他者と関わり、自身の考えを発展させる姿勢

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	・宇治拾遺物語 ・十訓抄 ・徒然草 P10～P28	◇宇治拾遺物語 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ◇十訓抄 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ◇徒然草 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。

第2回	・ 方丈記 ・ 竹取物語 ・ 小倉百人一首の世界 P29～P52	◇方丈記 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ◇竹取物語 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ◇小倉百人一首の世界 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。
第3回	・ 土佐日記 ・ 更級日記 ・ 平家物語 P54～P74	◇土佐日記 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ◇更級日記 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ◇平家物語 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。

第4回	・ 世間胸算用 ・ おらが春 ・ 枕草子 P76～P92	◇世間胸算用 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ◇おらが春 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ◇枕草子 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。
第5回	・ 伊勢物語 ・ 大和物語 ・ 大鏡 P94～P116	◇伊勢物語 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ◇大和物語 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ◇大鏡 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。

第6回	・ 袋草紙 ・ 無名抄 ・ 古今和歌集仮名序 ・ 源氏物語 P118～P138	◇袋草紙 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ◇無名抄 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ◇古今和歌集仮名序 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。
第7回	・ 近世俳句抄 ・ 去来抄 ・ 三冊子 ・ 古事記 P140～P156	◇近世俳句抄 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ◇去来抄 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ◇三冊子 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ◇古事記

面接指導②

単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。

第8回	・ 小話一四編 ・ 唐詩一八種 ・ 文一二編 P158～P180	◇小話一四編 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇唐詩一八種 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇文一二編 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。
第9回	・ 項羽と劉邦 ・ 寓話一五編 P182～P206	◇項羽と劉邦 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇寓話一五編 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。
第10回	・ 十八史略 ・ 小話一三編 P208～P226	◇十八史略 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇小話一三編 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。

第11回	・ 古体詩一五首 ・ 廉頗と藺相如 P228～P248	◇古体詩一五首 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇廉頗と藺相如 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。
第12回	・ 儒家と道家 ・ 詩一二首 ・ 信玄と謙信 P250～P270	◇儒家と道家 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇詩一二首 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ◇信玄と謙信 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
地理歴史・歴史総合	2	新選歴史総合（東京書籍）	必履修科目（半期）
評価方法	添削指導（6回）、試験（1回）、面接指導（1回）での評価		

指導目標
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付け、情報の意味や意義、特色などを考察し表現する力を養う。

評価の観点
【知識・技能】日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考・判断力・表現力】歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【主体性】歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	章 歴史の扉 第1章 近代化と私たち 1節 近代化への問い 2節 アジアの繁栄と西洋近代の形成 P5～P47	○世界が近代化に向かって大きく動く18世紀から19世紀に、アジアとヨーロッパの間でどのような国際関係が築かれていったのかを学ぶ。 ○18世紀後半からイギリスで起こった産業革命が近代化の礎となり、社会にどのような変化を与え、また世界経済にどのような影響を与えたのかを学ぶ。 ○アヘン戦争を機に、東アジアの国際秩序が変化し、日本も開国したことによって東アジアは世界の資本主義経済の中へ組み込まれていったことを学ぶ。 ○産業革命の波及により、19世紀に入ると欧米諸国でも工業化が進み新しい産業が発展したこと、また19世紀後半には中国・日本などアジア諸国でも工業化が進展したことを学ぶ。	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	3 節 世界の一体化と多様な近代化 4 節 近代化と現代的な諸課題 P48～P81	○市民革命によって社会の仕組みが変わり、国民国家の樹立が目指され、ナショナリズムと自由主義の運動が革命や独立運動につながったことを学ぶ。 ○欧米の進出がアジアに大きな変化をもたらし、明治維新における日本社会の変化と東アジアの国際関係について学ぶ。 ○欧米で定着した立憲制がアジアにも広まり、日本で制定された大日本帝国憲法がどのようなものであったのかを学ぶ。 ○列強の帝国主義政策によってアジア・アフリカが植民地化され、日本は日清・日露戦争を通して植民地支配を進めたこと、また世界の人々の帝国主義政策に対する態度について学ぶ。	
第3回	第2章 国際秩序の変化や大衆化の私たち 1 節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2 節 第一次世界大戦と大衆社会 P83～P107	○第一次世界大戦が国力をつぎ込む総力戦であったこと、戦後はヨーロッパでヴェルサイユ体制、アジア・太平洋でワシントン体制という新しい国際秩序が形成されたことを学ぶ。 ○ロシア革命とソ連の成立によって社会主義運動が世界各地に広がり、一方アメリカでは現代の資本主義の特徴があらわれ、大衆文化が生まれたことを学ぶ。 ○戦後、アジア・アフリカでは独立を目指して民族運動がさかんとなり、大衆の力を軽視できなくなった欧米や日本では普選選挙の確立など民主主義が発展したことを学ぶ。 ○近代化の過程で確立されたことが大衆化へとつながり、マスメディアの発達などが大衆化を促進したことを学ぶ。	
第4回	3 節 経済危機と第二次世界大戦 4 節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 P108～P137	○世界恐慌の発生により、ドイツ・イタリア・日本ではファシズムが台頭し、第一次世界大戦後に築かれたヴェルサイユ体制・ワシントン条約という国際協調体制が崩壊していったことを学ぶ。 ○ファシズムの対外膨張により、アジアでは日中戦争、ヨーロッパでは第二次世界大戦がはじまり、これらが結びついてアジア太平洋戦争もはじまったことを学びます。また、戦争終結の流れと戦後構想についても学ぶ。 ○戦後、敗戦国の日本やドイツなどで連合国による占領政策が実施されるなか冷戦がおこり、冷戦下で中国・朝鮮・ベトナムなどは分断されるかたちで再編されていったあことを学ぶ。 ○日本はアメリカの意向を反映する形で占領政策が実施されていたが、冷戦による東西対立が深刻になると、資本主義陣営の一員として位置づけられていくことになる。	
第5回	第3章 グローバル化と私たち 1 節 グローバル化への問い 2 節 冷戦と世界経済 P138～P165	○冷戦が激化する中、1950年代半ば以降に「雪どけ」や第三世界の台頭がみられたこと、また米ソの軍拡競争による核戦争の危機やアジア・アフリカにおける地域紛争の頻発について学ぶ。 ○第二次世界大戦後、各国で計画経済的な政策が行われたことや先進国と開発途上国との経済格差が国際問題となったこと、また日本では55年体制が確立し近隣諸国との外交関係を正常化していったことを学ぶ。 ○戦後、欧米先進国とそして日本は経済成長によって社会が変容したこと、また西ヨーロッパや東南アジアでは地域連携によって政治や経済における統合・連携がはかられたこと、そしてベトナム戦争が長期化するなか冷戦構造も変容したことを学ぶ。	

第6回	3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望 P166～P193	○先進国ではベトナム反戦運動に代表される新しい動きと石油危機への対応として新自由主義の経済政策が実施されたこと、一方で東アジア・東南アジアでは著しい経済発展がみられ格差が生まれたことを学ぶ。 ○冷戦の終結によってドイツの統一・ソ連の解体などが起こる一方
-----	--	---

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
地理歴史・地理総合	2	地理総合（東京書籍）	必修科目
評価方法	添削指導（計6回）、試験（年1回）、面接指導（年1回）での評価		

指導目標
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を探究したり解決したりする活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。

評価の観点
【知識・技能】世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などの理解、地理に関する情報を適切かつ効果的に調べとめる技能 【思考・判断力・表現力】地理に関わる諸事象等の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力 【主体性】よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 1節 私たちが暮らす世界 2節 地図や地理情報システムの役割 P7～P32	○さまざまな地図の特徴と表現できる情報について学ぶ。 ○地図と実際の地球の姿の異なる点を踏まえて情報をとらえるための知識を身につける。 ○領土、領域について理解し、実際の社会的な事象と結び付けて考える。 ○日常生活の中で地図を活用し、地理学習の内容を深めるための基礎的な知識を学ぶ。 ○利用が促進されるデジタル地図を主体的に利用するための基礎的な知識を学ぶ。	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	第2章 資料から読み取る現代世界 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解 P33～P61	○交通機関や情報通信網の発達とそれともなう社会の変化を学びます。 ○世界の多様な文化について学び、文化・民族とは何かを理解します。 ○結びつく現代世界における、国家群や課題について学習します。 ○世界の貿易の変化や、日本のこれまでの動向とこれからの課題について学びます。	
第3回	2節 生活文化と自然環境①地形 3節 生活文化と自然環境②気候 P62～P85	○世界の大地形について、プレートの動きとあわせて学習する。 ○外的影響が地形にどのような影響を与えているかを学習する。 ○多様な地形や気候について、巻末2、3の実験を参照して理解を深める。 ○地形や気候が人々の暮らしに与える影響について理解する。	
第4回	4節 生活文化と社会環境①産業 5節 生活文化と社会環境②宗教・民族 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題 P86～P131	○食生活や農業の地理的分布について学習する。 ○先進国、新興国、発展途上国の工業の特色や工業立地について学習する。 ○情報化が産業にもたらした変化を学ぶ。 ○中国、韓国、トルコ、ロシア、アメリカ合衆国、ラテンアメリカの地誌について、章の内容と関連するトピックから学ぶ。 ○地球の環境問題や資源・エネルギー問題について、これまで学習した地理的な事象を踏まえて理解する。	
第5回	3節 人口問題 4節 食料問題 5節 居住・都市問題 6節 民族問題・紛争と平和の構築 7節 持続可能な社会の実現をめざして P132～P172	○人口問題と居住・都市問題、食料問題について、先進国と発展途上国の抱える異なる事情・課題を理解する。 ○地球的な諸課題が互いに複雑に関連し合っていることを理解する。 ○各地で発生する民族問題・紛争について学ぶ。 ○持続可能な社会の実現について、身近な課題から主体的に考える。	
第6回	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望 P173～P213	○日本の地形の特徴について学ぶ。 ○日本の気候の特徴について学ぶ。 ○自然災害について、日本の地形や気候と関連づけて理解し、防災・減災のために身近な生活の中でできることを把握する。 ○地域調査を行うための手法を身につける。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
地理歴史・世界史探究	2	世界史探究（東京書籍）	選択科目（前後期通年履修）
評価方法	添削指導（12回）、試験（2回）、面接指導（2回）での評価		

指導目標
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、事象の意味や意義、特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、歴史的経緯を踏まえて、地球世界の課題を探究する。

評価の観点
【知識・技能】日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考・判断力・表現力】歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【主体性】歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	序章 世界史へのまなざし 第1編 諸地域の歴史的特質 第1章 古代文明の出現 P7～34	○なぜ世界史を学習するのかについて、私たちの生活に欠かせないお茶の歴史をたどること学ぶ。 ○地球と人類の誕生について、現生人類に直接つながる新人はどのように地球全体に拡散したのか学ぶ。 ○古代文明の出現について、大きな文明の分布を確認して、古代文明間の共通点と相違点を学ぶ。 ○古代オリエントとエーゲ海地域について、メソポタミア、エジプト、エーゲ海沿岸の古代国家について学習し、その共通点と相違点を学ぶ。 ○南アジアの古代文明について、南アジアの地理がどのように文明の広がりと人の移動に影響を及ぼしたのか学ぶ。 ○東アジアにめばえた古代文明について、黄河文明はどのような原理をもとにして体制を変えようとしたのか学ぶ。	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	第2章 西アジアと地中海周辺 P35～P64	○古代オリエントの統一について、とくにアッシリアとアケメネス朝ペルシアの統治のちがいについて学ぶ。 ○古代ギリシアとヘレニズム世界について、とくにアテネ民主政と現代の民主政のちがいについて学ぶ。 ○ローマ帝国と地中海世界について、とくにローマが共和政から帝政へと移行した理由について学ぶ。 ○古代末期の社会と地中海世界の解体について、ローマ帝国の政治、社会、宗教がその後のヨーロッパや西アジアにどのような影響を与えたのかを学ぶ。 ○地中海世界とアジアについて、ローマ帝国と西アジアは、南アジアや東アジアとどのようにつながっていたのかを学ぶ。 ○イスラーム世界の成立について、イスラームとはどのような特徴をもった宗教なのかを学ぶ。 ○中世初期の東西ヨーロッパについて、西ローマ帝国滅亡後の東西	
第3回	第3章 南アジア 第4章 東南アジア 第5章 東アジアと中央ユーラシア P65～P99	○南アジア地域における国家形成について学び、南アジア地域を特徴づける「多様ななかの統一」について具体的に考える。 ○東南アジア地域における国家形成について学び、交易や思想・文化が国家形成とどのように関係しているのか考える。 ○東アジアと中央ユーラシアの古代国家形成について学び、古代国家の誕生と発展が社会や文化に与えた影響や、それによって生み出された地域の特色について考える。 ○8世紀の世界について学び、8世紀がユーラシアの諸地域においてどのような点で転換期であったのか、またユーラシア諸地域の転換はどのように関連していたのか考える。	
第4回	第6章 アフリカ、オセアニア、古アメリカ 第2編 諸地域の交流と再編 第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄 P100～P121	○アフリカ、オセアニア、古アメリカの文明について学び、ユーラシア大陸以外に成立した文明について、自然環境とのかかわりにも注目し特徴を考える。 ○諸地域の交流と再編について、多様な面から考察する。 ○イスラーム世界の拡大と繁栄について、その流れを学び、東西7000kmにも及ぶアジア・アフリカの広大な地域が一つの文明圏としてまとまった理由を考える。	
第5回	第8章 中世ヨーロッパ 第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国 第8章 中世ヨーロッパ 第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国 P122～P159	○中世ヨーロッパについて学習し、9世紀から15世紀にかけて、ヨーロッパ社会ではどのような政治、経済、社会、文化の変動がおこったのかについて学び、それらの変動の結果は後世のヨーロッパにどのように継承されたのか考察します。 ○中華帝国の変容とモンゴル帝国について学び、歴史上かつてない規模の世界帝国であるモンゴル帝国が生まれた過程について学び、モンゴル帝国がどのように世界を結び付けたのか考察します。	
第6回	第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア 第11章 大交易時代と世界の一体化 P160～P185	○インド洋海域世界の発展と東南アジアについて学び、インドと東南アジアにおけるイスラームの広がり方の地域差と、その要因について考える。 ○大交易時代と世界の一体化について学び、大交易時代に、なぜ世界の各地で社会がほぼ同時に変化し、世界の諸地域間の関係は、前後の時代と比べてどのように特徴づけられるのか考える。	

第7回	第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄 第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大 P186～P224	○ユーラシア諸国の繁栄について学び、16世紀から18世紀にかけて、アジア諸地域に成立した諸地域が比較的安定した社会を維持できた理由を考え、その経済的繁栄がどのようにもたらされたのか考察する。 ○主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大について学び、16世紀から17世紀にかけてヨーロッパにあらわれた新しい国家の特徴と、それが形成された要因を考える。	面接指導② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第8回	第3編 一体化していく世界 第14章 国民国家と近代社会の形成 P225～P258	○19世紀から20世紀にかけ、科学技術の飛躍的発展、工業化の進展とともに、イギリスを先頭に自由貿易が展開するなか、人、もの、情報の動きが活発化し世界が密接に連動していくようすを学び、それについて多様な面から考える。 ○国民国家と近代社会の形成について学び、18世紀半ばから19世紀半ばにかけて、欧米で産業革命や、国民が政治の主体となる国家を建設しようとする動きが広がったのはなぜか、またこのような変革は、現代までどのような影響を与えているのかを考える。	
第9回	第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容 第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行 P259～P297	○世界市場の形成とアジア諸国の変容について学び、産業革命で先行したイギリスが19世紀半ばに自由貿易体制を推進したのに対し、後発のヨーロッパ諸国がどのように対応したのか、またヨーロッパ発の工業化の波はアジア諸国に何をもたらしたのかを考える。 ○アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行について学び、アジア諸国は自国の危機をどのように認識し、欧米列強と対峙しながらいかに改革をすすめ、また欧米列強はなぜアジアやアフリカなどへ進出しようとしたのかを考える。 ○19世紀後半の世界について学び、この時期になぜ人の移動が急速に進んだのか、また移民は移動先の社会にどのような変化をもたらしたのかを考える。	
第10回	第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦 P298～P336	○第一次世界大戦の展開と諸地域の変容について学び、第一次世界大戦は、なぜ「世界大戦」とよばれ、それまでの戦争とどのような点で異なるのか、そして、それぞれの地域において戦争の経験はどのような意味をもったのかを考える。 ○国際協調体制の動揺と第二次世界大戦について学び、アメリカに端を発する世界恐慌は、経済や政治をどのように変化させたのか、またそのなかで台頭したファシズム国家によってひきおこされた第二次世界大戦の推移は、戦後の国際秩序の再編にどのような影響を与えたのかを考える。	
第11回	第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア 第4編 グローバル化と地球的課題 第20章 冷戦の世界化と国際制度 P337～P362	○第二次世界大戦と戦後の東アジアについて学び、第二次世界大戦中のアジアの戦後構想と、実際のアジアの戦後はどのような点が連続し、あるいは異なっていたのかを考える。 ○冷戦の世界化と国際制度について学び、冷戦のもとで、世界の平和はどのように模索されたのか、また、世界に広がるなかで冷戦は、それぞれの地域でどのような意味をもったのかを考える。	
第12回	第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 第22章 21世紀の地球的課題と人類社会 P363～P389	○冷戦の変容・終結と経済のグローバル化について学び、冷戦の変容にともない、アメリカ合衆国の経済覇権はどのように動揺し、またその後が生じた経済のグローバル化は何を契機におこり、世界経済をかえていったのかを考える。 ○21世紀の地球的課題と人類社会について学び、21世紀に入り、地球上ではどのような課題に直面し、それを克服しようとしているのか、それまでの歴史をふまえ、その課題に取り組む当事者として考える。	

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
地理歴史・日本史探究	4	日本史探究（東京書籍）	選択科目（前後期通年履修）
評価方法	添削指導（１２回）、試験（２回）、面接指導（２回）での評価		

指導目標

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付け、それらを通して歴史に見られる課題を把握し、考察したことを効果的に説明する力を養う。

評価の観点

【知識・技能】日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考・判断力・表現力】歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【主体性】歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	第1編 先史・古代の日本と東アジア 第1章 先史社会の生活と文化 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形成と展開 1節 1・2 P7～P33	①先史社会の生活と文化について理解し、判断することができる。 ②歴史資料と先史・古代の展望について理解し、判断することができる。 ③律令国家の形成と古代文化の展開のうち、大和王権と古墳文化から飛鳥の朝廷と文化までについて理解し、判断することができる。 ④東アジアとのかかわりの中での日本史のとらえ方について、具体的な場面も含めて理解している。	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	第3章 古代社会の形成と展開 1節 3・4 2節 P34～P64	①律令国家の形成と古代文化の展開のうち、律令国家の形成と白鳳文化から平城京と天平文化までについて理解し、判断することができる。 ②摂関政治と貴族文化のうち、平安遷都と唐風文化について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ③摂関政治と貴族文化について理解し、判断することができる。 ④与えられたテーマに沿って文章を取捨選択し、指示に従って再構成してまとめることができる。	
第3回	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望 第3章 中世社会の展開 1節 P65～P97	①中世社会の成立および中世社会の展開について、理解し、判断することができる。 ②中世の日本と世界について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ③中世社会の展開について、理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。	
第4回	第3章 中世社会の展開 2節 P98～P122	①南北朝の動乱と室町幕府の成立および倭寇と東アジア国際交流について、理解し、判断することができる。 ②室町時代の社会と経済活動および自立する戦国大名について、理解し、判断することができる。 ③室町文化について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。	
第5回	第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望 第3章 近世社会の展開 1節 1 P123～P144	①近世社会の形成について、理解し、判断することができる。 ②近世社会の展開について、理解し、判断することができる。 ③近世社会の展開について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。	
第6回	第3章 近世社会の展開 1節 2・3・4・5 P145～P165	①幕藩体制の確立について、理解し、判断することができる。 ②幕藩体制の確立について、理解している。 ③幕藩体制の確立について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。	
第7回	第3章 近世社会の展開 2節 P166～P186	①近世社会の成熟と幕藩体制の動揺について、理解し、判断することができる。 ②近世社会の成熟と幕藩体制の動揺について、理解している。 ③近世社会の成熟と幕藩体制の動揺について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。	面接指導② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第8回	第4編 近現代の地域・日本と世界 第1章 近代社会の幕開け 第2章 歴史資料と近現代の展望 第3章 近現代社会の展開 1節 P187～P217	①近代社会の幕開けについて、理解し、判断することができる。 ②近現代社会の展開について、理解している。 ③近代社会の幕開けと近現代社会の展開について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。	

第9回	第3章 近現代社会の展開 2節 P218～P239	①近現代社会の展開の中の、国民国家と資本主義の成立について、理解し、判断することができる。 ②近現代社会の展開の中の、国民国家と資本主義の成立について、理解している。 ③近現代社会の展開の中の、国民国家と資本主義の成立について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。
第10回	第3章 近現代社会の展開 3節・4節 P240～P269	①近現代社会の展開の中の、両大戦間期の日本について、理解し、判断することができる。 ②近現代社会の展開の中の、第二次世界大戦と日本について、理解している。 ③近現代社会の展開の中の、両大戦間期の日本および第二次世界大戦と日本について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。
第11回	第3章 近現代社会の展開 5節・6節 P270～P291	①近現代社会の展開の中の、占領と改革について、理解し、判断することができる。 ②近現代社会の展開の中の、国際社会への復帰と高度経済成長について、理解している。 ③近現代社会の展開の中の、占領と改革について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。
第12回	第3章 近現代社会の展開 7節・8節 第4章 現代の日本の課題の探究 P292～P321	①近現代社会の展開の中の、アジア情勢の変化と経済大国日本について、理解し、判断することができる。 ②近現代社会の展開の中の、新しい国際秩序と日本の課題について、理解している。 ③近現代社会の展開の中の、アジア情勢の変化と経済大国日本及び新しい国際秩序と日本の課題について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 ④指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめることができる。

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。

教科・科目	単位数	使用教科書	履修について
地理歴史・地理探究	4	地理探究（東京書籍）	選択科目（前後期通年履修）
評価方法	添削指導（１２回）、試験（２回）、面接指導（２回）での評価		

指導目標
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。

評価の観点
【知識・技能】世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域・地域的特色や課題の理解、地理に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能 【思考・判断力・表現力】作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力 【主体性】よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度

添削課題	単元	指導項目、内容	面接指導実施計画
第1回	地理探究へのステップ 1 2 3 第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 1節 世界の地形 P5～P33	世界の地形について理解し、判断することができる。	面接指導① 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第2回	2節 気候と自然環境 3節 気候と人々の生活 P34～P59	気候と自然環境、気候と人々の生活について理解し、判断することができる。	
第3回	4節 日本の自然環境と自然災害 5節 世界の環境問題 第2章 産業と資源 1節 産業の発展と社会的分業 P60～P85	日本の自然環境と自然災害、世界の環境問題、産業の発展と社会的分業について理解し、判断することができる。	
第4回	2節 農林水産業 3節 食料問題 4節 エネルギーと鉱産資源 P86～P111	農林水産業、食料問題、エネルギーと鉱産資源について理解し、判断することができる。	
第5回	5節 資源・エネルギー問題 6節 工業の立地と工業地域の変容 7節 第三次産業 P112～P140	資源・エネルギー問題、工場の立地と工業地域の変容、第三次産業について理解し、判断することができる。	
第6回	第3章 交通・通信、貿易、観光 1節 交通・通信 2節 貿易と経済連携 3節 観光 第4章 人口、村落・都市 1節 人口 P141～P163	交通・通信、貿易と経済連携、観光、人口について理解し、判断することができる	面接指導② 単元内容について、指導項目を踏まえ、自宅学習を行う上で必要な基礎的・基本的な知識が修得できるよう、個々の生徒に応じたきめ細かな指導指導を行う。
第7回	2節 人口問題 3節 村落・都市 4節 居住・都市問題 第5章 生活文化、民族・宗教 1節 生活文化の地域性 P164～P191	人口問題、村落・都市、居住・都市問題、生活文化の地域性について理解し、判断することができる。	
第8回	2節 民族・言語・宗教 3節 民族問題 4節 現代の国家と領土問題 第2編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 1節 地域区分の意義と方法 P192～P215	民族・言語・宗教、民族問題、現代の国家と領土問題、地域区分の意義と方法について理解し、判断することができる。	
第9回	第2章 現代世界の諸地域 1節 東アジア 2節 東南アジア 3節 南アジア P216～P243	東アジア、東南アジア、南アジアについて理解し、判断することができる。	
第10回	4節 西アジアと中央アジア 5節 北アフリカとサハラ以南アフリカ 6節 ヨーロッパ P244～P265	西アジアと中央アジア、北アフリカとサハラ以南アフリカ、ヨーロッパについて理解し、判断することができる。	
第11回	7節 ロシア 8節 アングロアメリカ 9節 ラテンアメリカ P266～P287	ロシア、アングロアメリカ、ラテンアメリカについて理解し、判断することができる。	

第12回	10節 オセアニア 第3編 現代世界と日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 1節 日本の地理的諸課題を読み解く 2節 持続可能な国土像の探究 P288～P313	オセアニア，北極・南極，日本の地域構造の変化，持続可能な国土像の探究について理解し，判断することができる。
-------------	---	--

※レポートの提出期限については、転入学の生徒の関係などから各々で決められた期限とする。

※面接指導日については確定次第各々に連絡する。